

2022

ジェンダーギャップの解消を目指して

～ SDGs (持続可能な開発目標) に関する探究の記録～



<付録>

G G K K

(ジェンダーギャップを考えるカルタ)

2022 年度後期 帝塚山大学法学部専門基礎演習 B 成果物

作成：2 年生 13 名&指導教員 末吉 洋文

#sustainabledevelopmentgoals #genderequality #rightsofwomen
#unconsciousbias #MeToo#sustainabledevelopmentgoals
#genderequality #rightsofwomen #unconsciousbias #MeToo#s
ustainabledevelopmentgoals #genderequality #rightsofwomen
#unconsciousbias #MeToo#sustainabledevelopmentgoals
#genderequality #rightsofwomen #unconsciousbias #MeToo#s
ustainabledevelopmentgoals #genderequality #rightsofwomen

目次

2022年度版 GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）について	1
ゼミでの研究活動	2
GGKKの取材やその他の活動について	4
奈良県こども・女性局女性活躍推進課による 特別講演「奈良県の男女共同参画」	7
<付録> GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）	9
ジェンダーとは何か（指導の手引き）	36
ジェンダーギャップ指数（GCI：Gender Gap Index）とは何か	37
ガラスの天井指数（GCI：Glass Ceiling Index）とは何か	38
GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）一覧（2020年度版）	39
GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）一覧（2021年度版）	40
GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）一覧（2022年度版）	41
参考文献リスト	42
年表	52

国際女性デーは3月8日ですが、イタリアではこの日を「FESTA DELLA DONNA（フェスタデラドンナ）＝女性の日」としています。男性がお母さんや妻、同僚の方に日頃の感謝を伝えるために、ミモザを贈る風習があります。

1922年にイタリアで初めて国際女性デーが祝われ、1944年にイタリア女性労働組合が発足しました。ミモザの開花時期が2~3月であることから、国際女性デーのシンボルになったと言われています。



2022 年度版 GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）について

ちょうど 2 年前の 2021 年 3 月 8 日「国際女性デー」に初めて GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）を世の中に向けて発信しましたが、幸い多くの反響をいただき、新聞やテレビ、ラジオなどにも取り上げて頂きました。

今年度も、前年度同様、後期の「専門基礎演習 B」（2 年生）のゼミでは、2030 年までに達成すべき 17 の SDGs（持続可能な開発目標）のひとつである「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマに研究を深め、発表を行ってきました。

内閣府男女共同参画局の定義によれば、ジェンダー（gender）とは「社会的・文化的に形成された性別」のことであり、人間には生まれつきの生物学的性別がある一方で、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別をといてされています。

しかし、日本のみならず世界においては、ジェンダーに基づいた差別の事例が多くみられ、問題になることもしばしばあります。近年では、男女平等を実現する上で、ジェンダーギャップ指数が世界経済フォーラム（World Economic Forum）によって発表され、毎年注目されていますが、日本は 2019 年の同指数の順位が 110 位、そして 2020 年に 121 位（153 カ国中）、そして 2021 年には 120 位、そして 2022 年には 116 位となりました。昨年より僅かに順位は上がったものの、数値は悪化。依然として低迷したままの状態と言えます。

実際に GGKK を世に送り込んでからのこの 1 年、ジェンダーの問題について新たに多くの事が問題になり、ニュースとしても報じられました。こうした社会の動向を踏まえての第 3 弾として 2022 年度版の GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）を発表したいと思います。

カルタは、私たちがゼミでの研究発表などを通して学んだ様々なジェンダーに関連する問題が集約されています。その最大の特徴は遊びながらジェンダーの問題について知り、考え、一緒に遊ぶ仲間と議論できる、という点です。

実際に学外でワークショップの依頼を頂くことがあり、出張講義などを行いましたが、改めてジェンダーギャップの解消は老若男女の誰にとっても共通の課題であると感じた次第です。

「GGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）」の普及によってジェンダーの問題が少しでも解消されること、そして日本のジェンダーギャップ指数の順位が来年は少しでも上がることを私たちは願っています。

2023 年 3 月 8 日 国際女性デーの日に

帝塚山大学法学部 専門基礎演習 B（国際法・平和学ゼミ）指導教員 末吉 洋文

2020 年度版と 2021 年度版の「ジェンダーギャップを考えるカルタ」
が無料で閲覧&ダウンロードできる帝塚山大学法学部国際法・平和
学ゼミの HP はこちらからどうぞ⇒



ゼミでの研究活動

2022年10月

女子差別撤廃条約採択の経緯とその内容について

末吉 洋文（アドバイザー（指導教員））

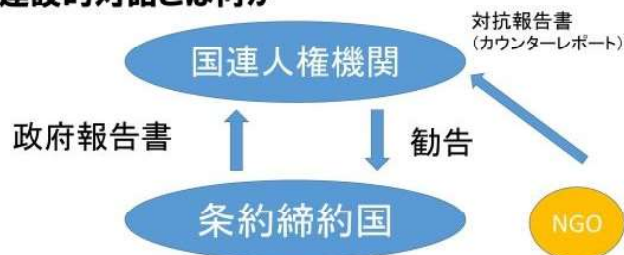
ジェンダーギャップの解消と男女共同参画、あるいは女性活躍の大部分は女性差別の問題であるという認識のもと、担当している「国際人権法」の授業（3年生以上対象）で使用しているレジュメ配付し、女子差別撤廃条約の経緯とその内容について説明を行った。

条約に基づき、女子差別撤廃委員会と日本政府との間に行われる建設的対話についても説明を行った。建設的対話とは、条約18条に基づき、締約国政府が条約が効力を生ずる時から1年以内、その後は少なくとも4年ごと、更には委員会が要請するときに政府報告書を条約運営機関である女子差別撤廃委員会に提出し、同委員会が21条に基づき、締約国から得た報告及び情報の検討に基づく提案及び一般的な性格を有する勧告を行うことができるという制度である。これらの政府報告書と委員会からの勧告については、外務省HPにおいて閲覧できることも紹介した。なお、女性の権利に関しては、国連人権理事会における普遍的定期的審査においても取り扱われるテーマであるが、割愛した。

また、男女共同参画に関しては男女雇用機会均等法や女性活躍推進法などを説明するとともに、2030年までに達成すべき17の目標としてのSDGsにおいても「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」として盛り込まれており、ジェンダーギャップを解消するための契機にあることを説明した。

ゼミ学生にとっては国内の法律や施策がこうした多数国間条約や国連を中心とした国際人権法制度のもとに作られていることを認識し、国際法が国内法に及ぼす影響について考える機会となった。

建設的対話とは何か



ゼミにおける学生の報告テーマ一覧

2022年度後期のゼミ（専門基礎演習B）を通じてジェンダー平等を実現するために学生が選択したテーマは以下のとおりである。

11/2	女性差別の国家でなぜ男が不幸なのか	S・W
11/2	名もなき家事	Y・K
11/9	男女の賃金格差について	T・K
11/9	同性婚について	N・T
11/16	無意識の偏見	O・S
11/16	ジェンダー問題に関する明石市の政策について	M・T
11/30	ジェンダーギャップ指数から考える性差	A・T
11/30	ジェンダー格差における女性優遇について	N・R
12/7	オリンピックにおけるLGBTQ+の選手について	Y・Y
12/14	LGBTQに対する認識に関する日本の現状	S・Y
12/14	ワークライフバランスについて	T・N
12/21	女性管理職について	H・T

※学生の氏名はイニシャルにしています



GGKK の取材やその他の活動について

- ① 「ジェンダーギャップを考えるカルタ」を原案として徳島県教職員組合が「みんなで学ぼうジェンダーフリーかるた」を制作

ジェンダー問題 かるたで学ぼう 県教組など制作 徳島新聞 2022年5月7日



- ② 奈良育英高校における出張授業 「ジェンダーギャップを考えるカルタ」を実施。
2022年6月18日
- ③ 奈良県男女共同参画担当職員研修 ジェンダーギャップを考えるカルタを使用
2022年8月23日
- ④ ジェンダーギャップを考えるカルタ キャンパス探訪 帝塚山大学法学部末吉ゼミ 性差考えるカルタ考案 男子学生主体で取り組み 日本経済新聞 2022年10月6日

⑤ コミュニティアクション チャレンジ 100 アワードのチャレンジ賞受賞、最初の2020年度版を制作したゼミ生2名とともに国際ガールズメッセ@東京で活動報告
2022年10月16日



帝塚山大学公式HP 2022年11月2日(水)お知らせ

【法学部】秋篠宮佳子内親王殿下の前で活動を報告 末吉ゼミの「ジェンダーギャップを考えるカルタ」がガールスカウトのアワードで受賞



⑥ 徳島県におけるジェンダー問題の講演・ワークショップの実施「中高生人よる人権交流事業」@徳島県阿南市の阿南市商工業振興センター 2022年11月18日・19日



⑦ 大阪信愛学院高等学校における出張授業「ジェンダーギャップを考えるカルタ」を実施。 2023年1月16日

SDGs アクションプラン 2022 (PDF ファイル)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_Action_Plan_2022.pdf

下記の QR コードからご覧ください。



なお、令和 2 年 1 2 月に SDGs 推進本部がまとめた「SDGs アクションプラン 2021 ～コロナ禍からの「よりよい復興」と新たな時代への社会変革～」では、12 箇所にわたって「ジェンダー」が使用されており、とくに、「SDGs 実施指針」の 8 つの優先課題に関する主な取組として、以下のことが列挙されていた。

あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現

- ・新型コロナウイルス感染症を受けて、子供や女性、障害者、高齢者など、脆弱な立場に置かれている人々が大きな影響を受けている。男女共同参画基本計画に基づき、女性活躍推進に向けた取組を加速化していく。また、あらゆる人々がその個性を発揮して活躍できる社会をつくるため、ダイバーシティ・バリアフリーの推進に引き続き取り組む。テレワークなどの働き方改革を通じてディーセントワークの実現を促進し、ワーク・ライフ・バランスの実現等を通じ、個人が輝き、誰もがどこでも豊かさを実現できる社会を目指す。
- ・コロナにより、未来を担う子供・若者の教育にも大きな影響が出ているところ、子供の貧困対策や教育のデジタル・リモート化を進めると共に、持続可能な開発のための教育 (ESD) を推進し、次世代への SDGs 浸透を図る。
- ・ビジネスと人権、責任あるサプライ・チェーン、企業の社会的責任に関する取組等が重要。「ビジネスと人権」に関する行動計画 (2020-2025) の実施を通じて、持続可能で包摂的な社会の実現に寄与することを目指す。
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も通じ、SDGs 推進の取組を広めていく。

アクションプラン 2022 のジェンダーに関連する記述部分は以下のとおりである。

1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現

- ・新型コロナウイルス感染症を受けて、子どもや女性、障害者、高齢者など、脆弱な立場に置かれている人々が大きな影響を受けている。春までの見通しが持てるよう、人流抑制等の影響を受ける方々の事業や生活・暮らし、とりわけ、非正規雇用、子育て世帯などの方々の状況に寄り添い、その支援に万全を期すとともに、供給制約や資源価格高騰等の景気下振れリスクにも適切に対応する。
- ・「第 5 次男女共同参画基本計画」や「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2021」(女性版骨太の方針) 等に基づき、女性デジタル人材の育成や「生理の貧困」への支援、女性の登用目標達成、女性に対する暴力の根絶など、女性活躍・男女共同参画の取組を推進する。あわせて、2022 年中に第 6 回国際女性会議 WAW ! を開催するなど、国際的な取組の更なる推進に貢献する。

奈良県こども・女性局女性活躍推進課による 特別講演「奈良県の男女共同参画」

日時：2023年1月25日（水）3時限目（13：10～14：40）

場所：東生駒キャンパス1号1101教室

演題：「奈良県の男女共同参画」※50-60分の講義、30分の質疑応答

講師：奈良県こども・女性局女性活躍推進課 石井一史様・西山由唯様

オープンゼミ形式として開催された講演会には11名の参加があった。開催の目的は、ゼミで研究を進めてきたジェンダーの問題を、大学における机上の学問としてだけではなく公務員（行政職）という実務的観点からの学びを取り入れることで、ゼミでの研究との接点を持たせ、より深く理解するためであった。

講演は、まず石井様からの自己紹介とこども・女性局の所管施策の説明から始まった。女性活躍推進課には少子化対策、地域の子育て支援、女性の活躍推進、男女共同参画の推進、女性の就労支援、女性への暴力防止啓発、そして性暴力被害者支援があり、出先機関として女性センター（男女共同参画の拠点）が挙げられている。

まず、「男女共同参画とは」から始まり、男女共同参画社会基本法第2条が紹介された。同法の定義によれば、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」とされている。続いて内閣府の資料が引用され、男女共同参画社会のイメージ図が提示される。「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」とスライドに書いてあり、ゼミ生たちもこれまで学んできた内容について確認できたことであろう。

次に、「アンコンシャス・バイアスを知っていますか」というスライドに切り替わる。これも既にゼミで学習済みであるが、どのようなアンコンシャス・バイアスがあるのかについては豊富な事例が提示され、改めて日常的にかついかにも無意識に偏見を持ってしまっているかがより深く理解できたように思われる。そういえば、海外の学者がアンコンシャス・バイアスを克服しようとしても無理があるので行動を仕向けるような形で是正すれば良いと唱えているが、そのためにはこうしたアンコンシャス・バイアスの事例を学び、数多く知っておくということも大切な部分なのであろう。こうしたアンコンシャス・バイアスを手掛かりに、「男は仕事、女は家庭」から「男も女も、仕事も家庭も」という言葉について発問があった。実はこれにも①結婚することが前提、②結婚したら添い遂げるものだと思っている、そして③異性愛であることが前提などのバイアスがかかっていることを知らされる。その後、SDGsやジェンダーギャップ指数に加え、最近新聞で報じられた奈良県の管理職女性比率や企業が女性活躍に取り組むことのメリットげ言及があった。

「奈良県の現状と課題」においては、奈良県の専業主婦率が1位であることや、奈良県女性の就業率、奈良県男性/女性を取り巻く環境など、地域性の要素を参照しながら奈良県におけるジェンダーギャップの現状について説明があった。特に意識の部分において奈良県は、「夫は働

き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識を持つ人が、男女ともに全国平均より多いという点、そして働く場所についても県内の身近なところでの働く場が少ないといった点、柔軟な働き方ができる職場が少ない、そして女性の能力を発揮できる職場の多様性が少ないといった点が挙げられた。

また、ご講演の中では、「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画（第4次奈良県男女共同参画計画・第2次奈良県女性活躍推進計画）」についても紹介があり、キーワードとして「ワーク・ライフ・シナジー」の紹介があった。奈良県では「日常生活の充実と仕事の充実が互いに好影響を与えること」と定義しており、その事例として「ライフ」を充実させることで、発想や人脈の広がり、健康の維持などの効果が生まれ、そのライフの中から生まれる経験を「ワーク」に活かすことで、「ワーク」の生産性がより高まっていくという好循環のスパイラル、との解説があった。

ご講演の中で印象深いお話しや興味深いデータが数多くあったが、とりわけ印象に残ったのは、「男性にとってのジェンダー問題」というスライドの中に書いてあった「ジェンダー平等の実現というのは、社会の持続可能な発展や、女性の活躍だけでなく、男性自身の豊かで幸福な生活をもたらしてくれるもの」という言葉である。管見の限りでは、こうした部分に社会の多くの人々（特に男性）が気付いていないのではないだろうか。2年前のゼミで初めてGGKK（ジェンダーギャップを考えるカルタ）を制作し、世に発信してから2年を迎えようとしているが、日本のジェンダーギャップ指数は果たしてこの先改善されるのだろうか。また、現実の社会において男女共同参画が実現する日が来るのであろうか。GGKKがその一助となれば幸いである。

総じて今回の講演は、2年前、そして前年度に引き続き、たいへん充実したものとなった。最期になりましたが、ご講演をご快諾して頂いた奈良県女性活躍推進課の石井様と西山様に厚く御礼申し上げます。

（文責：末吉 洋文）

※なお、講演の様子は奈良新聞に「男女共同参画社会 県の施策など紹介 帝塚山大で出張講義」というタイトルで掲載されました（2023年2月6日）。

付録 ジェンダーギャップを考えるカルタ

Gender **G**ap wo **K**angaeru **K**aruta



【遊び方】

- ・12～35ページを両面印刷（長辺を綴じると指定）の上、切れ分ければカルタの完成です。可能ならば少し硬い紙が良いでしょう。
- ・カルタを読む人は41ページの一覧から選んで読み上げてください。カルタをもう1セット印刷してから読んでも構いません。
- ・カルタを取った人は裏面の解説を読み上げる、というやり方で、遊びながらジェンダー問題について学んでください。
- ・裏面に【議論】が書いてあるカードが出た時にはみんなで考えたり、議論してください。
- ・QRコードを何枚かに挿入していますので、時間的余裕がある場合は関連サイトにアクセスした上で、議論するなどしてください。
- ・白紙カードも入れておきますので、プレイヤーどうして新しいかるたを考え、追加して遊ぶことも可能です。
- ・2022年度版は札の最初の文字を「きいろ」（ミモザの色）にしていますが、2021年度版「うすだいだい色」と2020年度版「ピンク色」と併せて（混ぜ込んで）遊ぶことも可能です。

い えのため

命を削る

男たち

あ りえない

断罪されるべき

性暴力

え むえるびーの

産休制度で

ベイビーはサンキュー！

う っりゆく時代

フェムテックから

ジェンダード・イノベーションへ

いの説明

消防士や木材伐採人、高所作業員など、死亡事故が起こりやすい職業は、ほぼ100%男性で構成されている。このように危険度の高い職業に男性が偏ることを「ガラスの地下室」と呼び、これは女性が法整備などが行われても実際には昇給や出世が難しいと考えられる状況にあることを意味する「ガラスの天井」と対を為す。このように、男性もまたジェンダー問題に苦しむ場合があるといえる。

えの説明

2022年8月下旬に大リーグ、サンディエゴ・パドレスのダルビッシュ有投手が、子どもが生まれたため一時的な産休制度を使ってチームを離れ、次の先発登板予定を順延するというニュースが報じられた。大リーグには「パタニティー・リスト」と呼ばれる産休制度があり、妻の出産などに合わせて選手が最大3日間チームを離れることが認められている。野球の試合よりも家族が優先される素敵な社会ですね。

あの説明

2022年は元女性自衛官に対する性暴力が明らかとなり、防衛省は22年12月、20～40代の男性隊員5人を懲戒免職とするなど計9人を処分した。2023年1月になり、被害を受けた女性自衛官は国などを相手取り、損害賠償を求める訴訟を横浜地裁に起こした。なお、毎年11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」として各地でキャンペーンやパープル・ライトアップが実施されている。

うの説明

ジェンダード・イノベーションとは、「科学・技術・政策などの領域において性差分析（生物学的性別、社会的性別）や、年齢、人種、ライフステージといった他要因との交差分析を取り込むことで、新しい視点を見出しイノベーションを創出すること」。フェムテックは女性特有の健康課題の解決策としての商品・サービスであるのに対し、GIは性差を研究・分析した上で市場創出を目指すところに違いがある。

がっ校関係

母に連絡

父関せず

おとうさんの

作ったご飯も

美味しいな

くふうだね！

インスタで性教育

清泉 Tweedia

きゆう急隊

もっと女性を

増やそうよ

かの説明

学校関係の連絡事項や子どもが通学後に体調不良などを起こした場合、まず一番に連絡が来るのがお母さんである場合が非常に多い。共働きでお母さんが働いているとしても、こうした現状は「子育ては女性のやるべきこと」といった性別に基づく役割が固定化されている事の証左ではないでしょうか。ちなみにPTAの活動に参加することは「名もなき家事」のひとつとして挙げられており、女性の参加率の方が多いという現状がある。

くの説明

清泉女子大（東京都品川区）の学生サークル Tweedia が SNS のインスタグラムを通じて包括的性教育に関する投稿を行い、啓発活動を行っている。例えば国際女性デー、PMS 月経前症候群、生理用品、セクシュアリティ、恋愛志向など様々な情報を提供し、また実際に婦人科ツアーを実施し、その様子を報告している。
【QR コード】 実際に清泉 Tweedia のインスタを見てみよう！



おの説明

内閣府男女共同参画局が考案した、子育て世代の男性の料理への参画促進を目的とした「“おとう飯（はん）” 始めよう」キャンペーンが始まった。ところが、「おとう飯は見た目が悪くて、おかあ飯は見た目が良くなかつダメなのか」といった批判も。近年の似たような事例として、某コンビニのプライベートブランド商品である「お母さん食堂」という名称が「食事は女がつくるもの」という性役割を固定化し、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を助長し、ジェンダーバイアスを再生産するという批判の声が上がったこともあった。

きの説明

消防吏員の数は令和3年4月1日現在、全国に165,463人おり、そのうち女性は5,304人となっている。2026年4月までに5%に引き上げる数値目標が設定されている。ちなみに女性警察官の数は28,637人（10.9%、令和4年度）、自衛官の数は、約1.8万人（全自衛官の約7.9%、2021年3月末現在）となっている。現場では女性の傷病者に対しては女性の救急隊員が対応すべき場面もあるとその必要性が指摘されている。

これも時代の流れだね

母子手帳から

親子手帳へ

し っ っ て は い る け ど

他人事？

LGBTQ+のこと

け た 違 い の 損 失

婦人科系疾患で

6.37兆円／年

さ ま た げ る

女性活躍

性別の違いだけで

この説明

日本独自のシステムで、乳幼児死亡率の高い発展途上国からも注目されている「母子手帳」だが、時代が変われば名称も変わる。岡山市は2001年から全国に先駆けて「親子手帳」に改称した。出産・育児の負担を父母が分担するよう促すのが狙いで、父親の役割に関するページなどが加えられた。「母だけが妊娠・出産、子育ての主体であるかのような社会の認識」への異議申し立てともいえる。父子家庭や祖父母が育てている家庭、同性カップルが養子縁組で子どもを迎えている家庭もあり、手帳を使うのは「母子」に限らない。

しの説明

SOGIとは、Sexual Orientation and Gender Identityの頭文字のことで、性的指向（好きになる相手の性）／性自認（自分の性別に対する認識）のことをいう。「SOGIハラ」は、性的指向や性自認に関連した、差別的な言動や嘲笑、いじめや暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせ（ハラスメント）を行うことや、望まない性別での学校生活・職場での強制異動、採用拒否や解雇など、差別を受けて社会生活上の不利益が生じることをいう。

けの説明

東京ビッグサイトで10月20～22日の期間おこなわれたイベント「Femtech Tokyo(フェムテックトーキョー)」にて、予防医療普及協会理事の堀江貴文氏と、同理事で産婦人科医の三輪綾子氏によるセミナーで紹介された資料より。その他、生理に伴う症状による社会経済的負担が総計6,828億円（通院費用930億円、OTC医薬品費用987億円、労働損失4911億円）という資料も。※OTC医薬品・・・薬局やドラッグストアで購入できる市販薬

さの説明

2022年3月に経済週刊誌エコノミストが発表したガラスの天井指数において、日本は29か国中28位であった。ガラスの天井指数はエコノミストが2013年から毎年発表しているもので、男女間の賃金格差や育休取得状況などの10項目を元に順位が決められる。経済協力開発機構(OECD)の調査によると、日本の男女間賃金格差は38か国中ワースト3位であった。具体的には、男性の賃金の中央値を100とした場合、女性の賃金の中央値は77.5となっており、22.5ポイントの差があるという現状だ。

せんそうは

女の顔も

している

すでに

防災用としての

備蓄はある生理用品

だんせい中心を見直す

技術革新

ジェンダードイノベーション

その手があったか！

ONITAMA (オイテル)で

「生理の貧困」に挑む

せ の説明

『戦争は女の顔をしていない』（岩波現代文庫、2016年）は、2015年にノーベル文学賞受賞したベラルーシ（ウクライナ生まれ）の作家スヴェトラナ・アレクシエーヴィチの著作。ソ連では第二次世界大戦で100万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。しかし戦後は世間から白い目で見られ、みずからの戦争体験をひた隠しにしなければならなかった、という内容。現在、ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、女性もまた兵士として駆り出されるという現実がある。

た の説明

ジェンダード（gendered）には「性差に注目する」という意味があり、この言葉にイノベーションを加えたジェンダード・イノベーションは「研究や開発において性差に着目して、技術革新を目指す」意味合いを持つ。過去の研究では女性やメスの動物を被験対象としたものが少なく、その結果、女性特有の問題が見過ごされてきたケースが多々ある。改善が必要な製品開発の事例としては、車のシートベルトが挙げられる。シートベルトの実験には従来から男性サイズのダミー人形が使われてきたために、男性にフィットしたシートベルトが開発され、事故が起きた場合、シートベルトの不具合から女性の方が重傷を負う確率が47%高いという。

す の説明

最近では、各都道府県がどれだけ「生理の貧困」問題に対処しているかどうかというデータが公表されたが、実際には災害用としての備蓄分が配布されたケースが多いようだ。地球温暖化などの影響で自然災害が増えているので、9月1日の「防災の日」や11月19日の「備蓄の日」に改めて非常用持ち出し袋の中身などを確認しておきましょう。【QR】あなたの住んでいる自治体では生理用品の無償配布が行われている（いた）かどうか、調べてみよう！

内閣府男女共同参画局

「生理の貧困」に係る地方公共団体の取組（第2回調査 2021年7月20日時点）一覧



そ の説明

OiTr（オイテル）は、商業施設・オフィス・学校・公共施設などの個室トイレに、生理用ナプキンを常備し無料で提供するサービスである。自費で購入する必要がある生理用品を、個室トイレ内におけるデジタルサイネージ（広告収入）を通じて無料で提供できるようにした点が画期的。女性、広告主、設置先という3者にメリットがある、“三方よし”のビジネスとも言える。【QR】実際にどうやって使うのか、動画を見てみよう！



つまり

誰もが使いやすい

オールジェンダートイレ

ちようさ報告書が

明らかにする

ジェイケー

JKの実情

とらぬなら

取らせてみよう

育児休暇

ディー&アイは

企業に

不可欠な時代

つ の説明

オールジェンダートイレとは、男性と女性を区別せずに、誰もが利用できるトイレ。LGBTQ（性的少数者）など多様なジェンダーへの配慮にもつながるとされ、国内外の先進企業や公共施設などが相次いで導入している。しかし、プライバシーや犯罪予防の観点からの問題も指摘されている。

【議論】あなたはオールジェンダートイレを使ってみたいですか？

と の説明

会社では「取らぬなら取るまで待とう育児休暇」となっている場合も多いのではないだろうか。イクボスとは子育て中の社員を支える上司のこと。部下から「妻が妊娠しまして」と言われた場合、上司は「すぐ職場に戻ってきてくれるよね？」ではなく「OK、いつ育休を取る？」と言わなければならない時代になっている。

ち の説明

ガールスカウト日本連盟は、「『ジェンダー』に関する女子高校生調査報告書 2020～声をつなぐ～」を、5月26日に公開した。同調査は、2020年6月12日～7月14日の期間に行われ、700名（ガールスカウト会員468名、一般232名）から回答を得ている。調査結果によれば、「女の子だから」という理由で何らかの制限を受けたことがある女子高生は47%に達した。共学校に通う女子高生の54%が、教員は生徒の性別によって期待・声かけ・態度が異なると感じている。

て の説明

dはダイバーシティ（Diversity）、iはインクルージョン（Inclusion）を表し、それぞれ英語で「多様性」「受容・包括」という意味を持ち、企業で働く人材が性別、国籍、年齢にかかわらず尊重され、個人の能力を発揮している状態を表す。D&Iを推進することで、新しいアイデアが生まれたり、優秀な人材の採用や離職率の低下、そして従業員による貢献などにも繋がるといった効果があるとされている。

に

ひゃく86年という説も

ジェンダー平等の

達成にかかる年月

な
かまが
いるよ

当事者だけでなく

アライが寄り添う

ね
ても
覚めても

ママの

家事負担は大

ぬ
り替えるのは

肌だけではない

ポールのジェンダー意識改革

に の説明

国連女性機関（UN Women）と国連経済社会局（DESA）の報告書によれば、法的保護での男女格差を解消し、差別的な法律を廃止するのに最長で286年かかると予想。職場で女性が男性と同等に幹部職を占めるには140年、各国議会で男女の議員数が平等になるには少なくとも40年かかると見積もられている。その原因として「コロナパンデミックとその爪痕、各地で起きている紛争や気候変動だけでなく、女性の性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）に対する否定的な態度がある」からだと報告書は指摘する。

ね の説明

「2021年社会生活基本調査」の県分の結果をまとめ、公表した。10歳以上を対象に調べた家事関連時間は男性52分、女性3時間49分。男女差は2時間57分で16年の前回調査より3分縮まったが、全国平均（2時間33分）に比べると依然、開きが大きいことが分かった。ただ、6歳未満の子どもがいる世帯では夫の家事関連時間が前回調査より1時間13分増加、夫婦間の差も38分縮小した。

な の説明

アライとは英語でally、つまり同盟者という意味で、LGBTQ+の人たちと一緒に、自分自身の問題として主体的に取り組む人たちのことを言う。名字でよくある「新井（荒井）さん」のことではありません。おかしなことに対してほんの少しだけ勇気を出して声を上げれば、あなたもアライを名乗ることができるのです。

ぬ の説明



社内外への女性活躍推進活動・次世代へのキャリア教育が評価され株式会社ポーラが「令和4年度東京都女性活躍推進大賞」を受賞した。社内に向けた取り組みとして①社員のジェンダー課題意識改革、②女性社員のキャリアの主体的選択に対するエンパワーメント（不妊治療、卵子凍結に関する福利厚生を強化）、そして③男性社員の育児休業取得100%に向けた推進などを実施し、社外では、次世代へのキャリア教育を支援すべく、朝日新聞社と共に、冊子「10代のためのジェンダーの授業」を作成し、全国の公立小中学校に配布するなどしている。【QR】他にどんな取り組みが行われているのか、同社のHPを見てみましょう！

パパ何もせず

「子ども」が増える？

育休の実態

ふうふで

シェアして経済的に？

ジェンダーレスコスメ

「のびしろがある」

とも言える

ジェンダーギャップ指数

日本のGGI

ひろげよう

LGBTQ+に関する

理解の輪

は の説明

育休を取ったものの、夫が家事や育児に主体性を発揮できず、妻に迷惑をかけた、夫婦喧嘩になってしまっているケースが多いのも事実。問題解決のコツは家事や育児に関して夫婦間で細部にわたる打ち合わせを行い実行することでしょうか。

【議論】 どうすれば家事や育児に対する夫の主体的関与を引き出せるのか、考えてみよう！

ふ の説明

ジェンダーレスへの意識の高まりやK-POPアイドルの影響でユニセックス、つまり男女の区別がないおしゃれが支持され始め、その流れで商品が増えている。男性には、手軽に試せる化粧水やコンシーラーなどが人気だそう。時代も変わりましたね！

【議論】 まわりに男性がいたらコンシーラーって何のために使う化粧品なのか訊いてみよう！

の の説明

2022年版の日本の総合順位は、得点0.650で、146カ国中116位（昨年は、得点0.656で、156カ国中120位）であった。順位は上がっているが、評価対象の国数が減っていることに加え、スコアも落ちている。G7諸国（日本、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、イタリア、カナダ）の中では、昨年に引き続き最下位という現状がある。

ひ の説明

最近では、戸籍上は男性で、女性として生きる性同一性障害の官公庁職員が、女性トイレの利用を不当に制限されたとして、国に処遇改善などを求めた訴訟が行われたりもしている。しかし逆に「性自認は女性」と説明する利用客が女性トイレに侵入容疑で書類送検されるなどといったケースも見られる。専門家からは「事件が注目され、性的少数者への偏見が広まらないか心配だ」といった声が上がっている。

ほんとに平等？

ひとり親への

待遇差

みんな嬉しい

企業も嬉しい

ポジティブアクション

へえ！

ー32年もかかる

ジェンダー平等

マイクロアグレッション

意図せずとも

相手は傷つく

ほ の説明

シングルファザーとシングルマザーでは平等になりつつではあるがまだまだシングルマザーの方が待遇が手厚く、例として遺族厚生年金を女性はいつでも受給できるのに対し、男性は60歳を超えるまでは受給できない現実がある。川崎市が作成したシングルファザー事例集『みんなどうしてる？川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』が参考になる。

み の説明

ポジティブ・アクションとは、一般的には、社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のことをいう。生産性の向上、モチベーションの向上、そして多様な価値観が生まれるといったメリットが指摘されている。最近では、東京大学が2027年度までの6年間に教授約140名、准教授約160名、合計約300名の女性教員の新規採用を目指すとの計画を発表したり、東京工業大学が2022年、主要8部局で同時に教員の女性限定公募を実施したり、2024年4月入試から総合型選抜・学校推薦型選抜に「女子枠」を創設することを発表したりといったニュースが話題になった。

へ の説明

世界経済フォーラムのグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2022が示す考えさせられる知見によれば、ジェンダー・パリティは私たちが生きている間の実現が難しいようです。レポートによれば、ジェンダー平等が現実のものとなるには132年、経済参加と機会に関するジェンダー・ギャップが解消されるまでに151年かかります。調査を行った146カ国のうち、ジェンダー・パリティを達成している国はひとつもありません。

ま の説明

マイクロアグレッションとは、悪気なく、無意識に行われる差別的言動のことで、日常の中にあるありふれた言葉や行動に現れ、意図的かどうかにかかわらず、特定の集団などに対し、人種や性別、ジェンダー、性的指向を軽視したり、侮辱したりするような否定的な表現のこと。例えば、「男性のパートナーと（高額の）買い物に行った時、店員に話しかけられない」場合は「意思決定者ではない」と暗にメッセージが伝わってしまっている場合など。

【議論】他にどんなマイクロアグレッションがあるのか、考えてみよう！

「メアリーは

出生時は男性とされていた

女性である」

やれるなら

やってみるべし

男性による家事育児

む 月経問題

勝利至上主義を

考え直そう

もとめられる

ジェンダーの視点は

気候変動にも

めの説明

「Cambridge Dictionary (ケンブリッジ英英辞典)」が、「woman」と「man」の定義をアップデートしたが、トランスジェンダーも含めるようにしたというニュースが報じられた。例えば「woman」の場合、従来の定義に加えて「出生時には異なる性別を告げられていた場合もあるが、自身を女性と認識している成人」と明記されている。また、例文として「メアリーは、出生時は男性とされていた女性である」などが加えられたという。性自認の概念が社会に普及しつつあることを意味しているといえる。

むの説明

「女性アスリートの三主徴 (さんしゅちょう)」とは、激しいトレーニングにより生じ、トップレベルから学生まで、競技に励む女子アスリートが悩まされる、エネルギー不足、無月経、骨粗しょう症を指す。アスリートに多いのは「視床下部性無月経 (ししょうかぶせいむげっけい)」で、これは脳の視床下部が女性ホルモンの分泌をコントロールしているが、急激な体重減少やエネルギー不足、ストレスなどが原因でコントロール機能が低下し、無月経が起こる。ネット上では様々な情報があるが、3か月以上の無月経の場合、婦人科受診をお勧めするクリニックの情報が多い。

やの説明

『とるだけ育休』問題が発生している。ママ向けQ&Aアプリ「ママリ」を提供しているコネヒト株式会社の調査によると、「育休を取得した男性のおよそ3人に1人が、1日あたりの家事育児時間が2時間以下」という実態が明らかになった。休みを取るだけの育休のままでは、いくら義務化されても母親たちの負担は増えるだけ」との指摘がある。

もの説明

女性は水くみや調理など家族のための家事を行う場合が多いが、温暖化の影響で旱魃が発生し、近くの水源が枯渇するとさらに遠くまで水くみに行かなければならなくなる。また、家父長制のもとで男性が絶対的な権力を持っている場合、緊急事態でも父や夫の許可が無ければ避難できなくなる場合がある。さらに、女性の識字率が低いので防災情報を読むことができないという可能性もある。

よ
う
や
く

シングルファーザーに朗報の

ひとり親控除

リ
ス
ペ
ク
ト
の

心で触れ合う

多
様
性
社
会

ゆ
る
せ
な
い
!

アートの世界でも

ジェンダー不平等

ら
く
な

道のりは無し

平等な家事分担

よ の説明

これまでシングルマザーの方が大変さを理解されやすかったり、再婚しやすいなどといった状況にある反面、シングルファザーに対する注目はされず、公的支援などもおろそかになっていたケースもあった。しかし最近の税制改革では、「ひとり親控除」として公的支援の面でも配偶者と離婚・死別したひとり親の税負担を軽くする制度が設けられたほか、「寡婦（夫）控除」の対象に、従来は対象外だった未婚のひとり親も加えられるようになった。

りの説明

性別や国籍、宗教など様々な人々が共生共存していかなければならない多様性社会。「エクスルーシブ（排他性）ではなくインクルーシブ（包括的）に」「主観的（自分勝手な判断）にではなく自分を客観視できるように」「差別ではなく公平に」「不正にではなく公正に」「対立ではなく協調を」ということが言えるでしょうか。

【議論】 最近、人に優しくしてあげた事ってありましたか？他のメンバーにシェアしてください！

ゆ の説明

美術家や映画監督、研究者らでつくる「表現の現場調査団」が、美術や映画、文芸など芸術9分野の教育機関や賞の審査員・受賞者の男女比率を調査した「ジェンダーバランス白書2022」によると、美大では学生の7割が女性だったのに対し、教授は8割が男性だったほか、美術館で開かれる個展や美術館の購入作品数でも8割を男性が占めるなど、機会やキャリア形成における著しい不均衡が浮かび上がった。こうしたジェンダーギャップは、映画分野でより顕著だという。

らの説明

生活時間の配分や余暇時間の活動状況を聞く「2021年社会生活基本調査」によると、奈良県では、10歳以上を対象に調べた家事関連時間は男性52分、女性3時間49分。男女差は2時間57分で16年の前回調査より3分縮まったが、全国平均（2時間33分）に比べると依然、開きが大きいことが分かった。ただ、6歳未満の子どもがいる世帯では夫の家事関連時間が前回調査より1時間13分増加、夫婦間の差も38分縮小した。

レゴも

シルバニアも

ジェンダーフリーに

ルーツは

トリニダード・トバゴにあり

国際男性デー

わるくても

ママに親権

「パパいらない」

ろん議を呼んだ

WCUP 開催地のカタールは

ジェンダーギャップ指数

GGI ー37位

れの説明

レゴではすでに「女の子向け」や「男の子向け」という商品表示をしていないと語った。レゴのウェブサイトでは現在、性別で商品を検索することはできなくなっている上、例えば消防シリーズでは口紅を塗った女性消防署長や女性消防士が存在している。シルバニアファミリーではお父さんがピンク色の服を着ているなど、子どもたちが性別に関する固定観念を持たないよう工夫が行われている。

わの説明

司法統計（令和3年度）によると、離婚調停・審判で離婚に至った夫婦の中で父が親権者となったものが1795件、母が親権者となったものが18678件となっている。このように、約1割が父に、約9割が母に定まっているというのが実態であり、父親が裁判で親権を得ることは非常に難しい。子どもが幼いほど、それが顕著であるとも言われており、母親の有責で離婚する場合でも、親権は母親の手に渡ることが多い。こうした実態は、「育児は母親がするもの」という固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）が影響している事の証左でもあると言える。

るの説明

11月19日の「国際男性デー」は、1999年にトリニダード・トバゴで始まったとされている、世界中のジェンダー平等を促す男性たちを称える記念日です。また、ジェンダー問題に関して肯定的なロールモデルとなる男性に光を当て、男性・男児の健康といった側面にも意識を向ける日でもあります。国際男性デーの目的の中には、男性だけでなく女性のためにも性の関係性の改善や、ジェンダー平等の推進を支援することが掲げられています。

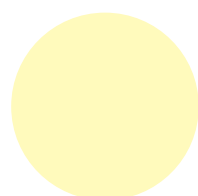
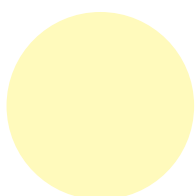
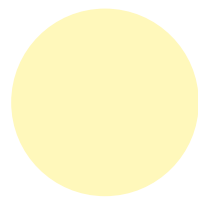
ろの説明

中東のカタールで開催されたワールドカップだが、GGIが低いと話題になった（日本は116位）。法律で同性愛を禁じる同国では、男性同士の性行為を禁止しており、死刑の可能性もあるという。深刻なジェンダー不平等も問題になっており、女性たちは、男性の後見人からの許可なしに結婚や留学、海外旅行、政府機関での勤務ができず、一部のイベントやアルコールを提供するバーへの立ち入りが禁止されている。

を
とこたたちが

後押しする

女性活躍の推進



を の説明

2014年に企業経営者等9名により、女性活躍を推進するためには組織トップのコミットメントが重要という想いの下、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」が発足した。行動宣言が定められており、そこでは「<現状を打破する>私たちは、積極的に人材を発掘し、能力を開発し、登用することで、わが社の女性の活躍を支えていきます。そのため、あらゆる機会に、「なぜ、女性が一人もいないのか」「なぜ、女性が30%以上いないのか」「なぜ、男女がフIFTY・フIFTY（50：50）でないのか」を確認し、組織の意識変革を促します」などと宣言されている。

保護者の皆様へ
教育現場の先生方へ

ジェンダーとは何か (指導の手引き)

ジェンダー (gender) とは「社会的・文化的に形成された性別」のことであり、人間には生まれつきの生物学的性別がある一方で、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別をといてされています (内閣府男女共同参画局の定義による)。まずはジェンダーとは何か、その定義を子どもたちに理解してもらってから、現在、どういった問題が発生しているのかをGGKK (ジェンダーギャップを考えるカルタ) で遊びながら知り、議論し、そしてジェンダー平等が実現されたより良い社会になるために私たちはどうすれば良いのかについて考えてください。

< GGKK (ジェンダーギャップを考えるカルタ) で遊ぶ前に必要な説明事項 >

- ・ジェンダーとは何か (定義)
- ・ジェンダーギャップ指数やガラスの天井指数にみられるように、日本においてはジェンダー問題があり、女性が差別される現状や、女性の権利が侵害されてきた歴史がある。(男性が逆に差別されるという場面も無いわけではありません。)



ジェンダーギャップ指数（GCI：Gender Gap Index）とは何か

世界経済フォーラム（World Economic Forum）が2019年12月、「Global Gender Gap Report 2021」を発表し、その中で、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）を発表した。この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示している。2020年の日本の総合スコアは0.652、順位は153か国中121位であったが、2021年の日本の総合スコアは0.656、順位は156か国中120位であった。2020年は順位は116位（146か国中）と上がったものの、スコアは0.650と下がり、これはジェンダーギャップが大きくなったことを意味する。

GGI(2022)
上位国及び主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
10	ドイツ	0.801
15	フランス	0.791
22	英国	0.780
25	カナダ	0.772
27	米国	0.769
63	イタリア	0.720
79	タイ	0.709
83	ベトナム	0.705
92	インドネシア	0.697
99	韓国	0.689
102	中国	0.682
115	ブルキナファソ	0.659
116	日本	0.650
117	モルディブ	0.648

日本の各分野におけるスコアと順位

分野	スコア（2022年）	昨年のスコア	2年前のスコア（順位）	3年前のスコア（順位）
経済	0.564（121位）	0.604（117位）	0.598(115位)	0.595(117位)
政治	0.061（139位）	0.061（147位）	0.049(144位)	0.081(125位)
教育	1.000（1位）	0.983（92位）	0.983(91位)	0.994(65位)
健康	0.973（63位）	0.973（65位）	0.979（40位）	0.979(41位)



内閣府男女共同参画局 HP 世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数 2022」を公表

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2022/202208/202208_07.html

ガラスの天井指数（GCI：Glass Ceiling Index）とは何か

英国エコノミスト誌が毎年、3月8日の国際女性デーに発表する「ガラスの天井指数（GCI：Glass Ceiling Index）」がある。GCIはOECD加盟国でもある先進29か国において、女性が男性と比べて職場においてどれだけ平等に扱われているのか、ということを用いた10の指数を用いて表現した指数であり、「ガラスの天井」とは、「男性が組織の上層部を支配しているという状況において、資質又は成果にかかわらずマイノリティ及び女性の組織内での昇進（キャリアアップ）を妨げる、制度上、女性にも機会が開かれているようで実際には開かれてはいない、見えないが打ち破れない障壁」を比喩的に表現したものである。

2021年はスウェーデンが首位となり、日本は先進29か国中、最下位から2番目の28位となった（最下位は韓国）。日本以外には、スイスやトルコ、韓国が下位を占めており、これらの4か国の順位は10年間変動していない。エコノミストは、「女性が家族と仕事の選択を迫られる日本と韓国が下位にとどまっている」と指摘している。

【GCIにおける日本の順位】 ※ 2021年のデータ

高等教育	23位	日本では高等教育における女性の成績は男性よりも2.4%ポイント優れている。
労働参画率	23位	日本では女性の就労率が男性よりも13.8%ポイント低い。
賃金格差	28位	日本では女性の賃金が男性よりも23.5%低い。ちなみに最下位は韓国で、その男女差は32.5%。
管理職	29位	全管理職中14.8%が女性で日本が最下位。1位のポーランドは43%である。
役員	27位	全役員中10.7%が女性である。ちなみに最下位は韓国で4.9%の役員が女性。1位のアイスランドは44.4%である。
GMAT受験者数	29位	最下位。21.4%のGMAT受験者が女性である。
国会議員	29位	最下位。すべての国会議員のうち9.9%が女性である。1位のニュージーランドは48.3%である。
育児費用	24位	最下位から6番目。総育児費用は平均賃金の25%を占める。
女性の育児休暇	9位	女性の有給育児休暇は35.8週取得できる。1位のハンガリーは68.2週取得できる。
男性の育児休暇	1位	男性の有給育児休暇は30.4週取得できる。

※ GMAT（Graduate Management Admission Test）とは、大学院レベルにおいてビジネスを学ぶために必要な分析的思考力、言語能力、数学的能力を測るための試験であり、ビジネススクール（経営大学院）への入学希望者を対象に行われる入学適性テストとしても利用されている。



<https://infographics.economist.com/2021/glass-ceiling/index.html>

GGKK (ジェンダーギャップを考えるカルタ) 一覧 (2020 年度版)

かるたの文言

1	あ	争いのもとに 言葉少なき夫
2	い	「育メン」言うてるうちは ジェンダー後進国
3	う	うん、さすが! と唸りたくなる 東大入学式の祝辞
4	え	映画を観て ジェンダーを 学ぶこともまた良し
5	お	「男のくせに」「女だから」は禁句
6	か	価値ある テクノロジー フェムテック
7	き	気がつけば 男の子も 泣く時代
8	く	苦しまないで独りで みんなで突き破ろう ガラスの天井
9	け	憲法にも明記されている 男女平等
10	こ	校長先生も女性が増えてきたけど まだ少ない
11	さ	「産休とります」に対しては「おめでとう!」が正解
12	し	知ってる? バアドやパダルという名の悪しき慣習
13	す	少ないのは何故? 男性のジェンダー研究者
14	せ	「説明しない妻」の先を必死に読む夫
15	そ	それはオランプ・ド・グージュ 女権宣言から始まった
16	た	男女共同参画で ジェンダー問題を 丸くおさめよう
17	ち	ちょっとした 企業努力でゲット えるぼし&くるみん
18	つ	勤めているのは 専業主婦もまた同じ
19	て	手伝いではなく 一緒にやる家事
20	と	どんな靴を履くかは 自由だ! # Kutoo 運動
21	な	無くそう男女格差 守ろう男女雇用機会均等法 (こきんほう)
22	に	日本の ガラパゴス的 性教育
23	ぬ	ぬかりなく 保障されるべき セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (ライツ)
24	ね	粘り強く 廃止を訴えるべき 児童婚
25	の	野放しはダメ 直接差別も 間接差別も
26	は	パパはやらないの? 名もなき家事
27	ひ	121 位というジェンダーギャップ後進国・日本
28	ふ	フラワーデモで 性暴力根絶 毎月 11 日
29	へ	北京女性会議から どれだけ進歩した 女性の権利
30	ほ	暴力と差別を無くそう 10 月 11 日は国際ガールズ・デー
31	ま	ままごとを男子がしても良い時代
32	み	#MeToo 運動で守る 女性の尊厳 許さない性暴力
33	む	無理しなくても 実現できるはず 選択的夫婦別姓
34	め	名誉殺人の被害者 世界で年間 5000 人
35	も	もうやめようよ 意味のない FGM
36	や	やればできるよ アイスランドは男性の育休 85%
37	ゆ	ゆがみを正せ アンコンシャスバイアス
38	よ	世の中から無くなれ ミソジニーという名の女性嫌悪
39	ら	ランドセル 何色がいいかは 子が決める
40	り	「良妻賢母」は言うけど 「良夫賢父」と言わないのはどうして
41	る	ルワンダの女性国会議員はクォータ制で 6 割達成
42	れ	歴史を変える 鍵となるか なでしこ銘柄
43	ろ	論争と言えば 晶子とらいてうによる 母性保護論争
44	わ	「ワンオペ育児」と「育メン」は 死語にすべき言葉
45	を	をんなの話は長い

※「を」については最近話題になりましたので、「をんなの話は長い」以降の文句を遊ぶ人どうして議論してカルタを完成してください。

Google 帝塚山大学 国際法・平和学

検索欄: すべて ニュース 画像 書籍 動画 もっと見る

約 193,000 件 (0.50 秒)

https://sueyoshi0.wixsite.com/tzk-peacestudies

戦争と平和 | 帝塚山大学法学部国際法・平和学ゼミ - Wix.com

帝塚山大学法学部国際法・平和学ゼミのHPです。戦争と平和について研究しています。... 帝塚山大学同窓会の学生チャレンジ制度に採択され、2020年に作成。

2020 年度版と 2021 年度版は帝塚山大学国際法平和学ゼミの HP から閲覧&ダウンロード可能です (無料)。



GGKK (ジェンダーギャップを考えるカルタ) 一覧 (2021 年度版)

かるたの文言

1	あ	あら不思議 パラレル家事で 妻ご機嫌
2	い	いないよね 女性の総理 なんだろう
3	う	うまいこと広めたい 奈良県の ワーク・ライフ・シナジー
4	え	エンパシー シンパシーとは違う意味
5	お	おんなだけの 問題ではない 「生理の貧困」
6	か	顔写真 なくていいよね 履歴書に
7	き	きっと同じ味のはず 男性が 入れたお茶も
8	く	苦労が続く 男女間賃金格差の是正
9	け	結婚に自由を 一度きりの 人生だから
10	こ	子育ては「手伝う」ではなく「する」ものだ
11	さ	さあ！これから増えていくよ 女性消防官
12	し	「女子力高いね」は 男の願望
13	す	スラックスでも OK！ みんな笑顔のジェンダーレス制服
14	せ	ゼブラ方式 言うけど シマウマは関係ないで
15	そ	それでもまだ少ない ビジネス界の女性役員
16	た	助け合い 性別 年齢 関係ない
17	ち	注意しないと うっかり SOGI (ソジ) ハラになる時代
18	つ	つらいのは 男も同じ 「らしさ」求められ
19	て	「敵国」の女性が拓 (ひら) いた 日本の未来
20	と	同性婚 愛さえあれば 関係ねえ
21	な	名が変わる それはいつも 女性側
22	に	日本のは 罰則がない パリテ法
23	ぬ	抜け出せるかは あなた次第 GGI (ジェンダーギャップ指数) 120 位
24	ね	狙いは明確 九州大学 (きゅうだい) の 配偶者帯同雇用制度
25	の	望む人には まずチャレンジできる 公平なチャンスを
26	は	配偶者を 嫁や家内と 呼ぶなかれ
27	ひ	ピンクタックス 女性用商品は なぜ高い
28	ふ	不公平 男と女の 賃金格差
29	へ	へえ！ パパの育休取得で ファミリー全体に好影響
30	ほ	防災もジェンダー 避難所でも 意識しよう
31	ま	摩訶不思議 103 万円以上 稼げない？
32	み	みんな感じるはず 「イクジョ」の違和感
33	む	無茶ブリを 女性候補にするのは 「票ハラ」です
34	め	目も当てられぬ コロナ禍で進む ジェンダー不平等
35	も	もはや 出版社が絶版を望む 駄言辞典
36	や	やるやん！ 奈良女子大学 (ならじょ) 女子大初の工学部
37	ゆ	ユニタードを着るといふ 女性アスリートの権利
38	よ	世の夫 家族養えど 家事しない
39	ら	来月も安心だね 無料ナプキンの配布
40	り	理不尽とは このこと 合格ライン性差
41	る	ルッキズム 見た目判断してはならぬ時代
42	れ	レガシー どこへ行った 東京オリパラ
43	ろ	ろくでもない 女性蔑視の タリバン政権
44	わ	わざわざ 「女性活躍」 言わねばならぬ日本
45	を	をどこでも スキンケアは 当たり前

GGKK (ジェンダーギャップを考えるカルタ) 一覧 (2022 年度版)

かるたの文言

1	あ	ありえない 断罪されるべき 性暴力
2	い	家の為 命を削る 男たち
3	う	移りゆく時代 フェムテックから ジェンダード・イノベーションへ
4	え	MLBの産休制度で ベイビーは サンキュー!
5	お	お父さんの 作ったご飯も 美味しいな
6	か	学校関係 母に連絡 父関せず
7	き	救急隊 もっと女性を 増やそうよ
8	く	工夫だね! インスタで性教育 清泉 Tweedia
9	け	ケタ違いの損失 婦人科系疾患で 6.37 兆円/年
10	こ	これも時代の流れだね 母子手帳から親子手帳へ
11	さ	妨げる 女性活躍 性別の違いだけで
12	し	知ってはいるけど 他人事? LGBTQ+ のこと
13	す	すでに 防災用としての備蓄はある 生理用品
14	せ	戦争は 女の顔も している
15	そ	その手があったか! OiTr (オイテル) で 「生理の貧困」を解決
16	た	男性中心を見直す 技術革新 ジェンダードイノベーション
17	ち	調査報告書が 明らかにする JK の実情
18	つ	つまり 誰もが使いやすい オールジェンダートイレ
19	て	D & I は 企業に 不可欠な時代
20	と	取らぬなら 取らせてみよう 育児休暇
21	な	仲間がいるよ 当事者だけでなく アライが寄り添う
22	に	286 年という説も ジェンダー平等の達成にかかる年月
23	ぬ	塗り替えるのは肌だけではない ポーラのジェンダー意識改革
24	ね	寝ても覚めても ママの 家事負担は大
25	の	「のびしろがある」とも言える 日本の GGI (ジェンダーギャップ指数)
26	は	パパ何もせず 「子ども」が増える? 育休の実態
27	ひ	広げよう LGBTQ+ に関する理解の輪
28	ふ	夫婦でシェアして経済的に? ジェンダーレスコスメ
29	へ	へえー! 132 年もかかる ジェンダー平等
30	ほ	ほんとに平等? ひとり親への 待遇差
31	ま	マイクロアグレッション 意図せずとも 相手は傷つく
32	み	みんな嬉しい 企業も嬉しい ポジティブアクション
33	む	無月経問題 勝利至上主義を 考え直そう
34	め	「メアリーは 出生時は男性とされていた 女性である」
35	も	求められる ジェンダーの視点は 気候変動にも
36	や	やれるなら やってみるべし 男性による家事育児
37	ゆ	許せない! アートの世界でも ジェンダー不平等
38	よ	ようやく シングルファーザーに朗報の ひとり親控除
39	ら	楽な道のりは無し 平等な家事分担
40	り	リスペクトの 心で触れ合う 多様性社会
41	る	ルーツは トリニダード・トバゴにあり 国際男性デー
42	れ	レゴも シルバニアも ジェンダーフリーに
43	ろ	論議を呼んだ WCUP 開催地のカタールは GGI (ジェンダーギャップ指数) 137 位
44	わ	わるくても ママに親権 「パパいない」
45	を	をとこたちが 後押しする 女性活躍の推進

参考文献リスト（各種年代順）

（カルタ制作のため参考にした書籍等。※過去の年度分を含む）

<本>

- 辻村みよ子『女性と人権 歴史と理論から学ぶ』（日本評論社、1997年）
- 松本侑壬子『シネマ女性学』（論創社、2000年）
- 白須英子『イスラーム世界の女性たち（文春新書）』（文藝春秋、2003年）
- ベティ・フリーダン（原著、翻訳）、三浦 富美子（翻訳）『新しい女性の創造 改訂版』（大和書房、2004年）
- 金城清子『ジェンダーの法律学 第2版（有斐閣アルマ）』（有斐閣、2007年）
- 上野千鶴子『女ざらいーニッポンのミソジニー』（紀伊國屋書店、2010年）
- 上野千鶴子『〈おんな〉の思想 私たちは、あなたを忘れない』（集英社インターナショナル、2013年）
- アイシェ・ヨナル（著）、安東 建（翻訳）『名誉の殺人母、姉妹、娘を手にかけて男たち（朝日選書）』（朝日新聞出版、2013年）
- 五百田達成『察しない男 説明しない女』（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2014年）
- 大越愛子・倉橋耕平『ジェンダーとセクシュアリティ 現代社会に育つまなざし』（昭和堂、2014年）
- ワレン・ファレル著、久米泰介訳『男性権力の神話 《男性差別》の可視化と撤廃のための学問』（作品社、2014年）
- 久留島典子・長野ひろ子・長志珠絵（編）『歴史を読み替える ジェンダーから見た日本史』（大月書店、2015年）
- 青野篤子（編集）『アクティブラーニングで学ぶジェンダー：現代を生きるための12の実践』（ミネルヴァ書房、2016年）
- 加藤秀一『はじめてのジェンダー論』（有斐閣、2017年）
- 高草木陽光『なぜ夫は何もしないのか なぜ妻は理由もなく怒るのか』（左右社、2017年）
- 奥田祥子『「女性活躍」に翻弄される人びと（光文社新書）』（光文社、2018年）
- 東京都産業労働局『平成30年度 雇用平等ガイドブック 男女雇用機会均等法のポイント』（2018年）
- 二宮周平『18歳から考える家族と法』（法律文化社、2018年）
- イリス・ボネット『ワークデザインー行動経済学でジェンダー格差を克服するー』（NTT出版、2018年）
- 清末愛砂・前田朗・桐生佳子『平和とジェンダー正義を求めて：アフガニスタンに希望の灯火を』（耕文社、2019年）
- 武田佳奈『フルキャリアマネジメント：子育てしながら働く部下を持つマネジャーの心得』（東洋経済新報社、2019年）
- 濱野京子・寮美千子『平塚らいてう / 萱野茂：女性・先住民の権利をもとめた人びと（非暴力の人物伝）』（大月書店、2019年）
- レイチェル・ギーザ（著）、富田直子（翻訳）『ボーイズ 男の子はなぜ「男らしく」育つのか』（DU BOOKS、2019年）
- 一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同（著）、佐藤文香（監修）『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみたーあなたがあなたらしくいられるための29問』（明石書店、2019年）
- ビル・エモット（著）、川上純子（翻訳）『日本の未来は女性が決める！』（日本経済新聞出版、2019年）
- 三成美保・笹沼朋子・立石直子・谷田川知恵『ジェンダー法学入門 第3版』（法律文化社、2019年）
- 前田健太郎『女性のいない民主主義』（岩波書店、2019年）
- 東京都産業労働局『令和元年度 雇用平等ガイドブック 女性活躍推進法・次世代育成支援対策推進法のポイント』（2019年）
- 山口慎太郎『「家族の幸せ」の経済学 データ分析でわかった結婚、出産、子育ての現実』（光文社、2019年）
- ナショナルジオグラフィック（編集）『Women ここにいる私 あらゆる場所の女性たちの、思いもかけない生き方』（日経ナショナルジオグラフィック社、2020年）
- WiMN『マスコミ・セクハラ白書』（文藝春秋、2020年）
- メアリー・ピアード（著）、宮崎真紀（翻訳）『舌を抜かれる女たち』（晶文社、2020年）

蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標) (中公新書)』(中央公論新社、2020年)
上野千鶴子・田房永子『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』(大和書房、2020年)
日本婦人団体連合会(編集)『女性白書2020 ジェンダー不平等を超える「北京+25」』(ほるぷ出版、2020年)
神谷悠一・松岡宗嗣『LGBTとハラスメント(集英社新書)』(集英社、2020年)
特定非営利活動法人 性暴力救援センター・東京『大切なことを伝えたい 性暴力被害者支援ガイド』(2020年)
フラワーデモ『フラワーデモを記録する』(エトセトラブックス、2020年)
WiMN『マスコミ・セクハラ白書』(文藝春秋、2020年)
男女共同参画局『共同参画』(2020年3・4月号)
https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/202003/202003_07.html
川勝泰介(編集)『よくわかる児童文化』(ミネルヴァ書房、2020年)
内閣府男女共同参画局『男女共同参画白書(令和2年版)』(勝美印刷、2020年)
上谷さくら・岸本学『おとめ六法』(株式会社KADOKAWA、2020年)
ポール・ナサンソン+キャサリン・K・ヤング著、久米泰介訳『法制度における男性差別 合法化されるミサンドリー』(作品社、2020年)
ジョニー・シーガー『女性の世界地図 女たちの経験・現在地・これから』(明石書店、2020年)
治部れんげ『「男女格差後進国」の衝撃 無意識のジェンダー・バイアスを克服する』(小学館、2020年)
太田啓子『これからの男の子たちへ「男らしさ」から自由になるためのレッスン』(大月書店、2020年)
東京都『多様な性について知るBOOK』(2020年)
MASH大阪『I Am Here 私たちはここにいる トランスジェンダーもそうでない人も 知ってほしい日常』(2020年)
『誰も排除しないスポーツ環境づくりのためのハンドブック [第2版]』(プライドハウス東京、2020年)
総合女性史学会(編)『ジェンダー分析で学ぶ 女性史入門』(岩波書店、2021年)
ブレイディみかこ『女たちのポリティクス 台頭する世界の女性政治家たち』(幻冬舎、2021年)
ダフナ・ジョエル、ルバ・ヴィハンスキ『ジェンダーと脳 性別を超える脳の多様性』(紀伊國屋書店、2021年)
日野佳恵子『女性たちが見ている10年度の消費社会 市場の8割を左右する「女性視点マーケティング」』(同文館出版、2021年)
日本婦人団体連合会(編集)『女性白書2021 コロナ禍とジェンダー平等への課題』(ほるぷ出版、2021年)
ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』(新潮社、2021年)
ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』(新潮社、2021年)
井上輝子『日本のフェミニズム 150年の人と思想』(有斐閣、2021年)
水無田気流『多様な社会はなぜ難しいか 日本のダイバーシティ進化論』(日本経済新聞出版、2021年)
中村敏子『女性差別はどう作られてきたか』(集英社、2021年)
辻村みよ子・糠塚康江・谷田川知恵『概説 ジェンダーと人権』(信山社、2021年)
澤田季江『ジェンダー視点で学ぶ女性史』(日本機関紙出版センター、2021年)
浅野富美枝・天童睦子『災害女性学をつくる』(生活思想社、2021年)
心理科学研究会ジェンダー部会編『女性の生きづらさとジェンダー 「片隅」の言葉と向き合う心理学』(有斐閣、2021年)
上野千鶴子・鈴木涼美『往復書簡 限界から始まる』(幻冬舎、2021年)
国立歴史民俗博物館(監修)『性差の日本史』(集英社インターナショナル、2021年)
岡本早織訳『ルース・B・ギンズバーグ名言集』(創元社、2021年)
橋本琴絵『暴走するジェンダーフリー 異論を許さない時代』(ワック株式会社、2021年)
日本婦人団体連合会(編集)『女性白書2022 コロナ禍を超え、ジェンダー平等社会の実現を』(ほるぷ出版、2021年)
日経×woman『早く絶版になってほしい #駄言辞典』(日経BP、2021年)
前田 晃平『パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ! ママの社会進出と家族の幸せのために』(光文社、2021年)

雨宮処凛『「女子」という呪い(集英社文庫)』(集英社、2021年)

ヒューマン・コミュニケーション研究所(編集)『女性の活躍!応援マガジン 季刊オピニオン・プラス 2021年秋(vol.35)』

田中東子『ガールズ・メディア・スタディーズ』(北樹出版、2021年)

内閣府男女共同参画局『男女共同参画白書(令和4年版)』(勝美印刷、2022年)

佐藤文香『女性兵士という難問—ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学—』(慶應義塾大学出版会、2022年)

村田晶子・森脇健介・矢内琴江・弓削尚子『ジェンダーのとびらを開こう』(大和書房、2022年)

新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』(小学館、2022年)

ルース・ベイダー・ギンズバーグ、アマンダ・L・タイラー『ルース・ベイダー・ギンズバーグ アメリカを変えた女性』(2022年、晶文社)

上野千鶴子『最後の講義 完全版 上野千鶴子』(主婦の友社、2022年)

上野千鶴子『フェミニズムがひらいた道』(NHK出版、2022年)

東京都産業労働局雇用就業部労働環境課『2022年版 働く女性と労働法』(2022年)

『性的マイノリティ(LGBTQ+)の自殺対策を自治体で進めて行くために〜「自殺総合対策大綱」に基づいて〜』(2022年)

東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課『男女平等参画を・・・学BOOK』(2022年)

東京都産業労働局『働きながら出産・育児・介護 育児・介護休業制度のポイント』(2022年)

東京ウィメンズプラザ『パパとママが描くみらい手帳 令和4年版』(2022年)

渋谷男女平等・ダイバーシティセンター<アイリス>『LGBTQ基礎知識 みんなが多様な性を生きている。』

「座談会 大学におけるダイバーシティ推進の取り組み」『大学時報』(2022年7月)NO.405所収

東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課『だれもが輝くとうきょうガイドブック〜男女平等参画のための施策〜』(2022年)

東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課『配偶者暴力被害者支援ハンドブック』(2022年)

渋谷男女平等・ダイバーシティセンター<アイリス>『一人ひとりが自分の力を生かせる渋谷に。 渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例について』

<論文>

池上清子「女性の健康と権利をめぐる国連と国際社会の動き—性と生殖に関する健康と権利(SRH/R)の分析を中心に」、『ジェンダーと国連(国連研究第16号)』(国際書院、2015年)

上野友也「「女性・平和・安全保障」—国連安保理決議1325(2000)の履行に向けた制度化を中心に」、『ジェンダーと国連(国連研究第16号)』(国際書院、2015年)

近江美保「国連におけるジェンダー主流化と貿易自由化—UNCTADによる試み」、『ジェンダーと国連(国連研究第16号)』(国際書院、2015年)

谷口洋幸「国連と性的指向・性自認—一人権理事会SOGI決議の意義」、『ジェンダーと国連(国連研究第16号)』(国際書院、2015年)

中野円佳「エリート女性への支援は女性全体に資するか?—「勝ち組」女性の課題と女性活躍推進の影響」『女性学』第24号(2017年)

清末愛砂「女性学・ジェンダー研究は変容を求められるか—女性の活躍推進法時代を迎えて」『女性学』第24号(2017年)

中澤晶子『「寄せ集め」から見えてきたもの』『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

杉山貴士「自作からジェンダーへの問題意識を語る」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年

7-8月号

はらだ有彩『『日本の「ヤバイ」女の子』になった女の子たち、「ヤバくない」ことになっていく女の子たち』『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

古内一絵「たとえ理解が出来なくても」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

長谷川まりる「言いたいことも言えないこんな世の中はポイズンなので」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

小川景子・伊藤美幸「リプロダクティブ・ヘルス/ライツと平和」、平井朗、横山正樹、小山英之編『平和学のいま：地球・自分・未来をつなぐ見取図』（法律文化社、2020年）所収。

藤岡美恵子・伊藤美幸・平井朗「ジェンダーと平和 —「生命と社会の再生さんをめぐる諸理論の批判的検討」、平井朗、横山正樹、小山英之編『平和学のいま：地球・自分・未来をつなぐ見取図』（法律文化社、2020年）所収。

宮下美砂子「幼年文学にみるジェンダー 育児の描かれ方から考える」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

水間千恵「児童文学とジェンダーとわたし」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

中川素子「絵本に見るセックス・ジェンダー・セクシュアリティ」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

牛山恵「ジェンダーと国語教材」『日本児童文学 特集 ジェンダーと児童文学』2020年7-8月号

これからのジェンダー平等①「性別役割分業意識の変革」の新段階? …江原由美子書斎の窓 2021.11月号 (No.678)

これからのジェンダー平等② 性別カテゴリーの潜在化 …江原 由美子書斎の窓 2022.01月号 (No.679)

これからのジェンダー平等③「性別カテゴリーの潜在化」と「ジェンダー平等」…江原 由美子書斎の窓 2022.3月号 (No.680)

これからのジェンダー平等④なぜ「性別カテゴリーの潜在化」は「ジェンダー平等の実現」を意味しないのか? …江原 由美子書斎の窓 2022.05月号 (No.681)

これからのジェンダー平等⑤「無意識」という問題 …江原 由美子書斎の窓 2022.07月号 (No.682)

これからのジェンダー平等⑥ 社会構造問題としてのジェンダー平等 …江原 由美子書斎の窓 2022.09月号 (No.683)

<新聞記事>

「女性は管理職向かない」「育児中きつい仕事は無理」…、「無意識の偏見」登用阻む (Women & Work) (日本経済新聞、2019年2月4日)

アンコンシャス・バイアス「無意識の偏見」、女性活躍阻む——企業に対策研修「自覚、慎重な判断生む」(Women & Work) (日本経済新聞、2017年11月27日)

「P & G 執行役員広報渉外本部アソシエイト・ディレクター住友聡子氏——無意識の「バイアス」を知る (女性管理職が語る) (日経産業新聞、2020年3月12日)

「男女格差 121 位の現在地は」(朝日新聞、2020年3月8日)

「お母さん食堂」論争の背景」(毎日新聞、2021年2月19日)

「歴史浅い男女平等」(毎日新聞、2021年2月20日夕刊)

「[家事] 夫婦でシェア (下) 話し合ってチーム感を」(読売新聞、2020年3月19日東京朝刊)

「机をたたく、相談を拒絶、性的冗談を流布、ハラスメント撲滅へ具体指針、ベル24、離職の防止に。」(日経産業新聞、2020年2月12日)

「パワハラ撲滅へ、会社はどう対策、防止法、6月施行、「トップが率先して」「経営問題と認識を」(日本経済新聞 2020年4月27日)

「家事時間の男女差 2 時間 57 分、前回比縮小も依然大きな開き - 奈良県の 2021 年社会生活基本調査」(奈良新聞、2023年1月31日)

「育休取って夫婦げんか激増なぜ」(毎日新聞、2022年12月16日)
「無月経問題正しく向き合って」(毎日新聞、2021年9月24日)
「芸術界 いびつジェンダー キャリア形成 不均衡顕著」(毎日新聞、2022年9月3日)
「「嫁さん」「旦那」使われ続けるのは？」(毎日新聞、2022年6月4日)
「論点 フェミニズムの現在地」(毎日新聞、2022年4月29日)
「コロナの痛み 女性に色濃く 連合奈良 男女間の格差是正を 6月「男女平等月間」」(奈良新聞、2022年6月14日)
「#「普通」をほどく 夫婦の呼称 「主従」ひそむ言葉にあらがう」(毎日新聞、2022年6月26日)
「ジェンダー表現 自戒のガイド書 「良妻賢母」も「イクメン」ももうNG」(毎日新聞、2022年4月20日)
「LGBTQ 誇り持って競技を ゲイ公表のフィギュア元五輪代表」(毎日新聞、2022年11月19日)
「女性×テクノロジー フェムテック普及に法の壁 「生理用品は白」/「医薬部外品」から除外も」(毎日新聞、2021年6月23日)
放置許されぬ 学校での性暴力」(毎日新聞、2022年7月15日)
「女性候補 伸びぬ数」(毎日新聞、2022年3月8日)
「ジェンダー、軍隊も意識、女性の徴兵・登録、欧州で拡大、任務多様化で人材確保、男社会、慣習見直し不可欠。」(日本経済新聞、2021年8月10日)
「家庭で活躍しない日本の男性 ジェンダーの現在地～本田由紀教授と考える(上)」(毎日新聞、2022年3月18日)
「「マイクロ アグレッション 「女性なのにすごい」それは”小さなけなし” 性別、人種で相手を下に」」(奈良新聞、2022年6月1日)
「等身大の「性教育」インスタで発信 目指すはジェンダー平等」(毎日新聞、2022年7月5日)
「女性管理職 奈良、全国2位13.1% 近畿9%、過去最高」(奈良新聞、2022年11月23日)
「男性の「とるだけ育休」防ぐには」(毎日新聞、2023年1月3日)
「「仕事より育児」の時期あっても」(毎日新聞、2023年1月7日)

<インターネット>

男女不平等としてどんな問題がある？ジェンダーギャップ指数とは
<https://gooddo.jp/magazine/inequality/11386/>
IDEAS FOR GOOD (最終閲覧日 2020年3月)
<https://ideasforgood.jp/issue/genderinequality/>
「特集 世界でもっとも男女平等な国(1) 父親の育休取得率7割！」
<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/158/>
「11年連続！アイスランドがジェンダーギャップ指数 世界1位になるまで」
<https://sourire-heart.com/category/wmn-clm/>
「大きなジェンダー・ギャップの現実 なぜ女性の地位が世界最低レベルなのに、日本男性の幸福度は異常なほど低いのか」(最終閲覧日 2020年3月)
<https://president.jp/articles/-/35456>
富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課『結婚したら始めよう！ TOYAMA 家事シェアスタートブック』(PDF)
<https://www.pref.toyama.jp/documents/9563/01384342.pdf>
富山県「TOYAMA 家事シェアスタートブック」を作成しました！
<https://www.pref.toyama.jp/101701/kurashi/seikatsu/seikatsueisei/kj00021856.html>
NHK「政治マガジン」(最終閲覧 2022年1月17日)
<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/lastweek/31604.html>
奈良県女性活躍推進課 HP
<https://www3.pref.nara.jp/hodo/item/67477.htm>

一般社団法人インテグリティ公式 HP

<https://www.integrity-sd.org/cont16/97.html>

履歴書から性別欄、顔写真欄を削除へ。多様性に配慮

<https://www.tbsradio.jp/archives/?id=p-573787>

履歴書に顔写真は必要か？世界の履歴書は？斜めの顔写真が常識の国もあった！

<https://tonton52.com/rirekisho/amp>

朝日新聞「ウーマン川柳」続々投稿 本音や違和感、共有したい（2021年3月8日）

<https://www.asahi.com/articles/ASP3575F8P33UTFLOOT.html>

幻冬舎 GOLD ONLINE お茶くみ、掃除…よくある職場の慣例はハラスメントの可能性大

<https://gentosha-go.com/articles/-/31013>

LIMO [リーモ] | くらしとお金の経済メディア「男女の賃金格差はどれくらいあるのか。年齢や雇用形態、産業別にチェック」

<https://limo.media/articles/-/27148>

ユニセフ HP 児童婚

https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act04_04.html

アフリカで強制結婚させられる子どもたちが多い理由、解決のために必要な支援とは

https://gooddo.jp/magazine/peace-justice/human_trafficking/africa_humantrafficking/2761/

子育て支援策 新報告書

ユニセフ HP 先進国の育休、保育政策等をランキング 日本は育休1位、保育の質や料金では中位

<https://www.unicef.or.jp/news/2021/0125.html>

総務省 HP 「女性消防吏員の活躍推進」

https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/josei-shokuin001.html

女子力が高い人の特徴 10 個！女子力をアップする方法 5 つを紹介

<https://machicon.jp/ivory/column/41461>

15 歳のニュース 女子の制服、パンツ OK 都道府県立高校で 44.4%

<https://mainichi.jp/maisho15/articles/20211002/dbg/048/040/010000c>

《朝日新聞デジタル》（今さら聞けない世界）男女平等 6 位のナミビア 120 位の日本が学ぶべきこと（2021年04月25日）

<https://www.asahi.com/articles/ASP4Q6G4WP4NUHBI01F.html>

内閣府男女共同参画局「共同参画」2021年5月号

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/202105_05.html

朝日新聞デジタル（いちからわかる！）きょう11月19日は「国際男性デー」なの？（2020年11月19日）

<https://www.asahi.com/articles/DA3S14700612.html>

「憲法 変えるのではなく世界に広げて 24 条草案者の長女ニコルさんに聞く」東京新聞 2019年8月29日

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/15231>

LGBT の割合がバラつく理由【13 人に 1 人？ 100 人に 1 人？】

<https://jobrainbow.jp/magazine/lgbt-percentage>

厚生労働省 平成 28 年度 人口動態統計特殊報告「婚姻に関する統計」の概況です！

女性の政治進出、日本は先進国最低 駐日大使の解決策

<https://style.nikkei.com/article/DGXZQOFK250FH0V21C21A0000000/>

「共同参画」2021年5月号 世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数 2021」を公表 内閣府男女共同参画局総務課

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/202105_05.html

九州大学男女共同参画推進室 2018-09-17 「九州大学配偶者帯同雇用制度」について

<https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600>
朝日新聞デジタル「研究者夫婦、一緒に雇用します 九大が国内初」2017年7月27日

<https://www.asahi.com/articles/ASK7W34B5K7WUBQU004.html>
男性に「ゲタをはかせていた」無意識の偏見の正体

<https://forbesjapan.com/articles/detail/17905>
妻と嫁と奥さんと女房と家内とかみさんの違い

<https://all-guide.com/cg00445/>
製品価格の男女差「ピンク税」は、性差別ではなく経済学

<https://forbesjapan.com/articles/detail/12809/1/1/1>
女性用”が高くなるカラクリ、ピンク税を排除「指毛もわき毛も剃りたい」女子のためのカミソリブランドが登場

<https://heapsmag.com/no-pinktax-shaving-body-care-brand-Billie-for-women>
JSPS 男女共同参画推進シンポジウム『研究とライフイベントの両立へのヒントがここに！』

<https://cheers.jsps.go.jp/event/>
独立行政法人国際協力機構「“女性の視点に立った防災”が必要：藤原しおり（元ブルゾンちえみ）さんたちと考える」

https://www.jica.go.jp/topics/2021/20210408_01.html
男女共同参画局 災害対応力を強化する女性の視点

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/index.html>
日本が「配偶者控除」をなくせない本当の理由

<https://president.jp/articles/-/30470>
配偶者控除、働く女性「廃止を」8割 日経ウーマノミクス・プロジェクト会員調査

<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO08537550Z11C16A0TY5000/>
女性候補、有権者から「デートして」・宴席で有力者に体触られ…「票ハラ」に悩む 読賣新聞 2021/10/17

<https://www.yomiuri.co.jp/election/shugiin/20211017-OYT1T50033/>
お尻にスツと手 つきまといも「票ハラ」の対処法は 朝日新聞デジタル 2021年7月27日

<https://www.asahi.com/articles/ASP7W5W1HP7RUTFK00Q.html>
朝日新聞社が作成した『2030 SDGs で変える 2021 年度版』

<https://www.nikkeibp.co.jp/atclpubmkt/book/21/282890/>
朝日新聞 2021年6月24日 工学系女子、社会変える 女子大初の工学部 奈良女

<https://www.asahi.com/articles/ASP6R6X9MP5LPOMB00K.html>
五輪「性的意図の映像」なくす… IOC も方針 ナゼ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9270e9c998c43a74ec95deae90c878d066f7ff6>
親の影響ではなかった！？「家事ができない夫」はなぜ生まれる？——共働き夫婦 家事育児の実態～夫のホンネ、妻のホンネ～ vol.03

https://next.rikunabi.com/journal/20191209_d02/
「生理用品の無料配布、実施に地域差 最低は鹿児島は2%」朝日新聞デジタル 2021年8月4日

<https://www.asahi.com/articles/ASP835RH9P83UTFK010.html>
(帝塚山大学が所在している奈良市は2021年6月に無料配布を実施した)。

都立高入試、女子に不利 合格点、最大243点差 毎日新聞 2021/5/27

<https://mainichi.jp/articles/20210527/ddm/001/100/138000c>
現在、女性を一律に不利に扱うなど、不正入試が発覚した東京医科大を受験した女性28人が、「不公正、不公平な入試を受験させられた」として同大に計約1億5200万円の賠償を求めた訴訟が起こされている。

朝日新聞 2020年09月26日夕刊ミスコン、あり方考える 「多様性に反する」批判受け

法政大学 HP 「ミス / ミスターコンテスト」について

<https://www.hosei.ac.jp/NEWS/gaiyo/191129/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54>

都合の良い「多様性と調和」東京オリパラが残した負のレガシーを忘れない

<https://news.yahoo.co.jp/byline/matsuokasoshi/20210906-00256885>

タリバン戦闘員「食事がまずい」、女性に火をつけて殺害…女学校の閉鎖相次ぐ 読賣新聞 2021/08/23

<https://www.yomiuri.co.jp/world/20210823-OYT1T50038/>

ヒューマンライツウォッチ HP アフガニスタン：女性を守れない司法制度 タリバン支配拡大で、過去の司法上の改革も危機に 2021/8/4

<https://www.hrw.org/ja/news/2021/08/05/379390>

ナショナル ジオグラフィック ニュース アフガン新法、女性にとって致命的 2014.02.10

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/news/14/8879/>

男女共同参画局女性活躍推進法「見える化」サイト

https://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/horitsu_kihon/index.html

「女性活躍推進支持せず」「フェミニスト嫌い」若年男性の4割 電通調査

<https://www.advertimes.com/20211116/article368638/>

もっとも、電通が行った2021年に行った「男らしさに関する意識調査」によれば「女性活躍推進支持せず」「フェミニスト嫌い」という若年男性が4割を数えた。

男性の5人に1人がメイクをしている！？メンズメイクに対する女性の意見を調査

株式会社ネクストレベル 2021年9月16日

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000104.000032757.html>

内閣府男女共同参画局「パープル・ライトアップ」を実施してみませんか？—実施団体募集—

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/purple/index.html

フェムテックの次はコレ！新市場の注目キーワード「ジェンダード・イノベーション」DIME 2022.09.28

<https://dime.jp/genre/1471906/>

パドレス ダルビッシュ 子ども生まれ産休に先発は27日に順延

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220824/k10013784991000.html>

内閣府男女共同参画局「“おとう飯”始めよう」キャンペーン

<https://www.gender.go.jp/public/otouhan/index.html>

「PTA活動」にお父さんの姿が少ない理由とは？282人の父母に聞いた

<https://kufura.jp/family/couple/201839>

総務省消防庁

https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/

総務省消防庁女性活躍

https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/josei-shokuin001.html

「相手任せはNG」大切な同意 清泉女子大生が挑む等身大の性教育（毎日新聞、2022年6月12日）

<https://mainichi.jp/articles/20220611/k00/00m/040/016000c>

ホリエモン、女性の健康課題を語る - 「経営者こそフェムテックを学ぶべき」その理由は？

<https://news.mynavi.jp/article/20221101-2499743/>

母子手帳、親子つなぎ80年 時代で変化、ジェンダー配慮—父の育児も後押し

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022031900423&g=eco>

母子手帳は「親手帳」じゃだめ？ 父親たちの問題提起

<https://www.asahi.com/articles/ASP7D5FLXP7DULEI002.html>

ガラスの天井の意味は。壊れたはしごとは違う？女性やマイノリティのキャリアアップの障壁

<https://www.profuture.co.jp/mk/recruit/strategy/40122#:~:text=2022%E5%B9%B43%E6%9C%88%E3%81%A>

B,%E3%81%AB%E9%A0%86%E4%BD%8D%E3%81%8C%E6%B1%BA%E3%82%81%E3%82%89%E3%82%8C%E3%82%8B%E3%80%82"

<https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/kenko/periodpoverty/pdf/2-2.pdf>

オイテル HP

<https://www.oitr.jp/>

ジェンダー・イノベーションと産学連携

2022/12/15

<https://news.goo.ne.jp/article/sangakukan/nation/sangakukan-20221215133134052.html>

女子高校生を対象にしたジェンダーに関する調査報告書が公開

EdTechZine 編集部 [著]

d & i とは？推進するメリットから取り組み事例までご紹介

<https://school.jp/biz/column/1421#:~:text=d%26i%E3%81%AE%E3%81%AF%E3%83%80%E3%82%A4%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%86%E3%82%A3,%E3%81%84%E3%82%8B%E7%8A%B6%E6%85%8B%E3%82%92%E8%A1%A8%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

『誰も排除しないスポーツ環境づくりのためのハンドブック [第2版]』(プライドハウス東京、2020年)

「ジェンダー平等の達成」には286年かかる？

<https://madamefigaro.jp/society-business/230103-gender.html>

2022年の終わりには一日1.90ドル以下という極貧状況で暮らす女性や女子は3.83億人いると推定されるのに対し、男性や男子は3.68億人。

ポーラが「令和4年度東京都女性活躍推進大賞」受賞

社内外への女性活躍推進活動・次世代へのキャリア教育が評価され産業分野にて「大賞」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000409.000036737.html>

家事時間の男女差2時間57分、前回比縮小も依然大きな開き - 奈良県の2021年社会生活基本調査(奈良新聞、2023年1月31日)

<https://www.nara-np.co.jp/news/20230131212041.html>

男女共同参画局 GGI ジェンダー・ギャップ指数

https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html

前田 晃平『パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ！ママの社会進出と家族の幸せのために』(光文社、2021年)

男性育休・現在地は？ 家事育児、短時間 男性の「とるだけ育休」防ぐ“七つの法則”(毎日新聞、2022年11月15日)

<https://mainichi.jp/articles/20221114/k00/00m/040/174000c>

K-POP アイドルの影響でコスメが変化！だれでも使いやすいコスメとは？

特集：Life ESSEnce

https://esse-online.jp/articles/-/20081?cx_clicks_art_md=2_img

ジェンダー平等を132年待つわけにはいかない

<https://www.jiji.com/jc/article?k=20220831005230&g=bw>

シングルファーザー事例集『みんなどうしてる？川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』

<https://www.scrum21.or.jp/issue/singlefather>

「マイクロ アグレッション 「女性なのにすごい」それは”小さなけなし” 性別、人種で相手を下に」(奈良新聞、2022年6月1日)

マイクロアグレッションって？ 悪気ない差別的言動 「心に刺さる」とげ、気づいて」原さん高知市で講演

高知新聞社 2022.09.10

<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/592403>

「納豆食べられる？」と尋ねる前に 日常に潜む無意識の攻撃

毎日新聞 2022/5/14

<https://mainichi.jp/articles/20220512/k00/00m/040/095000c>
無月経問題、正しく向き合って 日本体育大教授 運動生理学 須永美歌子さん(毎日新聞、2021年9月24日)

<https://mainichi.jp/articles/20210924/ddm/010/040/025000c>
女性アスリートの三主徴

https://www.jpnsport.go.jp/jiss/portals/0/column/woman/seichoki_handobook_5.pdf
【ケンブリッジ英英辞典】「女性」と「男性」の定義をアップデート。「性自認の概念」を反映させるらしい
2022/12/25

<https://tabi-labo.com/305401/wt-cambridge-dictionary-includes-transgender>
声をつないで 国際女性デー 2022 気候変動対策に女性の視点を 「環境・持続社会」研究センター・遠藤理紗事務局次長に聞く (毎日新聞、2022年3月8日)

<https://mainichi.jp/articles/20220308/ddm/013/040/016000c>
「とるだけ育児」男性の3人に1人は家事育児時間が2時間以下…では、父親は何したらいいの？
プライムオンライン編集部

<https://www.fnn.jp/articles/-/24290>
芸術界ジェンダー格差 美大生7割女性なのに 教授は8割男性 毎日新聞 2022/8/29

<https://mainichi.jp/articles/20220829/ddm/041/040/118000c>
2023.01.31 奈良新聞 家事時間の男女差2時間57分、前回比縮小も依然大きな開き - 奈良県の2021年社会生活基本調査

<https://www.nara-np.co.jp/news/20230131212041.html>
「なぜ女子はスカート？」伝統のセーラー服を変えた生徒の一言 (毎日新聞、2021年4月28日)

<https://mainichi.jp/articles/20210427/k00/00m/040/105000c>
カタール・ワールドカップ、なぜ批判されているのか？ 懸念される人権問題を解説

https://www.huffingtonpost.jp/entry/qatar-2022_jp_63731885e4b0290136455882
令和3年度司法統計

<https://www.courts.go.jp/app/files/toukei/597/012597.pdf>
"内閣府男女共同参画局ホーム > 主な政策 > 女性の活躍促進 > 女性の活躍促進 > 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」

https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html

※内閣府男女共同参画局ホームが発行している広報誌「共同参画」は、インターネットで閲覧・ダウンロードが可能です。

<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/>

< TV 番組 >

NHK「RBG 最強の85才 前編」(2018年アメリカ)【2021年1月5日(火)放送】[BS1] 後11:00

NHK「RBG 最強の85才 後編」RBG (2018年アメリカ)【2021年1月6日(水)放送】[BS1] 後11:00

NHK「クローズアップ現代+」「女性の体の新常識 フェムテックで社会が変わる」【2020年11月24日(火)放送】

NHK「クローズアップ現代+」「女性が能力を発揮できる職場とは？」【2020年11月18日(水)放送】

※「クローズアップ現代+」は、インターネットで「これまでの放送」を閲覧し、番組内容について学ぶことができる。

女性の権利に関する年表（1945 年以降）

日本の出来事		世界の出来事
女性参政権確立	1945	国連憲章採択、国際連合設立
日本国憲法、第 1 回総選挙（初の女性参政権行使）、女性議員 39 名誕生	1946	国連：女性の地位委員会設置
労働省発足、婦人少年局設置、民法改正（「家」制度廃止）	1947	
優生保護法による中絶の合法化	1948	国連：世界人権宣言
ILO 加盟	1951	ILO: 同一価値の労働についての男女労働者に対する同一報酬に関する条約 (100 号)
	1952	国連：女性の政治的権利に関する条約
売春防止法制定・公布	1956	
初の女性週刊誌『週刊女性』創刊	1957	国連：既婚女性の国籍に関する条約
	1958	ILO：雇用及び職業についての差別待遇に関する条約 (111 号)
国連加盟、高等学校で女子のみ家庭科必修導入	1960	ユネスコ：教育における差別禁止に関する条約
中学新指導要領、男子は技術、女子は家庭科の別修に	1962	国連：婚姻の合意、最低年齢、婚姻の登録に関する条約
		アメリカ：公民権法
	1963	米で B. フリーダン『女らしさの神話』刊行、女性解放運動の端緒
	1965	ILO: 家庭責任をもつ女性の雇用に関する勧告 (123 号)
結婚退職制無効判決（東京地裁）	1966	国連：経済的・社会的及び文化的権利に関する国際規約（社会権規約）
		国連：市民的・政治的権利に関する国際規約（自由権規約）
	1967	国連：女性差別撤廃宣言
女子の高校進学率 79.5% ではじめて男子を上回る	1969	
東急機関工業地位保全仮処分申請事件（女子若年定年制）の判決		
婦人問題企画推進本部	1975	国連：メキシコ会議、「世界行動計画」、国際婦人年（目標：平等、発展、平和）、国連が 3 月 8 日を「国際女性の日」として記念を開始、女性労働者の機会及び待遇の均等に関する宣言
日本女性学会発足		
戸籍法改正	1976	「国連女性の 10 年—平等・開発・平和」を宣言
「国内行動計画」	1977	
国際女性学会設立（2003 年に国際ジェンダー学会に名称変更）		
	1978	ノルウェー：男女平等法

日本の出来事		世界の出来事
日本女性学会設立	1979	国連: 女性差別撤廃条約採択
		マーガレット・サッチャー、女性初の英首相就任
女性差別撤廃条約署名	1980	第2回世界女性会議(コペンハーゲン会議)(女性差別撤廃条約の署名式): 「国連女性の10年後半期行動計画」
「国内行動計画後期重点目標」日産自動車事件最高裁判決	1981	ILO: 家族責任をもつ男女労働者に関する条約(156号)
大卒女子の就職難 上場企業の8割が採用ゼロ	1982	
国籍法の改正施行(父母両血統主義の採用、配偶者の帰化条件の男女同一化)	1985	第3回世界女性会議(ナイロビ会議): 「西暦2000年に向けての女性の地位向上のためのナイロビ将来戦略」
男女雇用機会均等法制定・労働基準法改正		
女性差別撤除条約批准		
年金法改正(妻の年金権の確立)		
「西暦2000年に向けての新国内行動計画」	1987	
女性差別撤廃条約の第1回政府報告書を提出		
配偶者特別控除の導入	1988	
学習指導要領改定(家庭科を男女共修化)	1989	国連: 「世界の女性1970年~1990年: その実態と統計」
女子の大学進学率が36.8%に上り男子を初めて上回る。		
「セクシャル・ハラスメント」が流行語になる。		
日本初のセクシュアル・ハラスメント裁判(福岡セクハラ事件)		
出生率史上最低で「1.57シヨツク」。少子高齢化社会の問題化	1990	
「新国内行動計画」(第1次改定)	1991	
法制審議会民法部会身分法小委員会民法改正の検討開始		
育児休業法制定、92年施行		
女性差別撤廃条約の第2回政府報告書を提出	1992	女性差別撤廃委員会: 「女性に対する暴力(一般勧告19)」
パート労働法	1993	国連世界人権会議、「ウィーン宣言」
土井たか子、女性初の衆議院議長就任		国連: 「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」
労働省「セクハラ」を初めて定義		世界人権会議: 「女性の権利は人権(Women's Right is Human Right)」という強力なキャンペーン展開
女性差別撤廃条約の第3回政府報告書を提出		
婦人企画推進本部改組、男女共同参画推進本部を設置	1994	ILO: パートタイム労働に関する条約(175号)
総理府:(旧)男女共同参画審議会、男女共同参画室		カイロ人口開発会議
法制審議会身分法部会: 「婚姻制度等に関する民法改正要綱試案」		第1回「世界女性スポーツ会議」(イギリス・ブライトン)開催、スポーツにおけるあらゆる分野での女性の参加を推進するブライトン宣言を採択
日弁連「女性の権利110番」夫婦間暴力を取り上げる		

日本の出来事		世界の出来事
金沢地裁、判決文に「セクシュアル・ハラスメント」を初めて使った判決を出す		
ILO156 号条約批准	1995	世界社会保障会議
育児休業法改正（介護休業制度法制化）、育児・介護休業法制定		年第 4 回世界女性会議（北京会議）：「北京宣言及び行動綱領」採択
沖縄少女強姦事件、抗議行動		
法制審議会身分法部会：「民法の一部を改正する法律案要綱」	1996	ディカ・クマラスワミ「ドメスティック・バイオレンスに関する報告」
総理府：「男女共同参画ビジョン—21 世紀の新たな価値の創造」		
旧経済企画庁：「無償労働に関する研究会」		
総理府：「男女共同参画 2000 年プラン」		
優生保護法を母体保護法に改正（優生関係条項削除）		
女子の大学進学率が 24.6% に達し初めて短大進学率を上回る		
男女雇用機会均等法改正（女性に対する差別の禁止等）	1997	
総理府：男女共同参画審議会（男女共同参画審議会設置法）		
日本ジェンダー学会設立	1997	
「男女共同参画社会基本法について—男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり」	1998	
1998 女性差別撤廃条約の第 4 回政府報告書を提出		
NPO(特定非営利活動促進)法		
女子の大学・短大進学率 49.4% で男子の 47.1% を上回る		
男女共同参画社会基本法の公布・施行	1999	国連：女性差別撤廃条約の選択議定書（個人からの通報認める）
ピルの使用認可		フランス：男女平等アクセス法
		ラディカ・クマラスワミ「女性に対する暴力：家庭内における女性に対する暴力—その原因と結果」
女性の審議会委員の数を 20% まで高める目標達成	2000	韓国：「政党法」改正
旧厚生省「精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療のあり方についての報告書」		女性 2000 年ニューヨーク会議「成果文書」
「男女共同参画基本計画」閣議決定		ILO: 改定母性保護条約（出産休暇 14 週以上）
ストーカー行為等の規制等に関する法律		国連特別総会「女性 2000 年会議：21 世紀に向けての男女平等・開発・平和」（ニューヨーク、6 月）
中央省庁再編、男女共同参画会議・男女共同参画局（内閣府）設置（1 月）	2001	韓国：女性省新設
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律		「フランス：パリテ法のもと市町村議会選挙で女性議員比率倍増
「育児休業法」改正（対象となる子の年齢の引き上げ等）		

日本の出来事		世界の出来事
人事院:「女性国家公務員の採用・登用の拡大に関する指針」		
男女共同参画会議:「仕事と子育ての両立支援策に関する専門調査会」		
女性差別撤廃条約の第5回政府報告書を提出	2002	
男女共同参画社会の将来像検討会報告書	2003	国連女子差別撤廃委員会日本政府レポートに対する勧告
ジェンダー法学会創立		
育児・介護休業法改正	2004	暫定的特別措置に関する一般的勧告 25号
男女共同参画推進本部決定「女性国家公務員の採用、登用の拡大等について」決定		
「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の改正（暴力の定義の拡大等）（6月公布／12月施行）及び同法に基づく基本方針の策定（12月）		
「男女共同参画基本計画（第2次）」閣議決定（12月）	2005	第49回国連婦人の地位委員会／「北京+10」閣僚級会合（ニューヨーク、2～3月）
「男女雇用機会均等法」の改正（性差別禁止の範囲の拡大等）（6月公布／2007年4月施行）	2006	韓国で韓明淑が初の女性首相に就任
「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」改正（保護命令制度の拡充等）（7月公布／2008年1月施行）	2007	
改正男女雇用機会均等法施行。柳沢厚労相の「女性は産む機械」発言問題化		
「パートタイム労働法」改正（パートタイム労働者の雇用環境の整備）（6月公布／2008年4月施行）		
「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」策定（12月）		
女性差別撤廃条約の第6回政府報告書を提出	2008	
最高裁 兼松賃金訴訟で男女格差は違法との判決	2009	
育児・介護休業法改正（短時間勤務制度導入等）		
改正育児・介護休業法施行、男性の育休取得を後押し	2010	第54回国連婦人の地位委員会 / 「北京+15」記念会合
		UN Women 設立
「第3次男女共同参画基本計画」閣議決定		国連グローバル・コンパクトと UNIFEM（現 UN Women）が共同で作成した女性の活躍推進に積極的に取り組むための行動原則 WEPs（女性のエンパワーメント原則）を策定
	2011	エレン・ジョンソン・サーリーフ（リベリア）、レイマ・ボウイ（リベリア）、タワックル・カルマン（イエメン）がノーベル平和賞を受賞。平和構築活動における女性の安全かつ全面的参加を求めて非暴力の活動を展開
子ども・子育て支援法成立	2012	第56回国連婦人の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント決議案採択
「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の改正（7月公布）及び同法に基づく基本方針の策定（12月公布）	2013	

日本の出来事		世界の出来事
内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組み指針」	2013	
女性差別撤廃条約の第7回および第8回政府報告書を提出	2014	女子教育の重要性を訴えたマララ・ユスフザイ（パキスタン）さんがノーベル平和賞を受賞。
		第58回国連女性の地位委員会「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント」採択
「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」の成立	2015	SDGs（持続可能な開発目標）を採択
「第4次男女共同参画基本計画」閣議決定（12月）		
最高裁、女性のみ再婚禁止期間を違憲と判断		
最高裁、夫婦同姓を定める民法規定を合憲と判断		
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）完全施行	2016	
「女性活躍加速のための重点方針2016」策定		
「女性の活躍推進のための開発戦略」策定		
G7伊勢・志摩サミット「女性の能力開花のためのG7行動指針」及び「女性の理系キャリア促進のためのイニシアティブ（WINDS）に合意		
女子差別撤廃条約実施状況第7回及び第8回報告審議、最終見解		
育児・介護休業法及び男女雇用機会均等法等の改正		
「国際女性会議 WAW!」（WAW!2016）開催		
一般勧告第35号（19号改訂）女性に対するジェンダーに基づく暴力	2017	
改正刑法施行（性犯罪の厳罰化、強姦罪の非親告罪化）		
「セクシュアルハラスメント対策の強化について～メディア・行政間での事案発生をうけての緊急対策～」の策定	2018	ナーディーヤ・ムラード（イラク）氏がノーベル平和賞を受賞。戦時下性暴力を終結させるための活動に対して
「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」公布、施行		
国連女性差別撤廃委員会、日本政府第7回および第8回報告審査に対する見解		
GGI（ジェンダーギャップ指数）2020で日本は世界153カ国中121位（政治分野144位）	2020	2018・2019年G7ジェンダー平等評議会、「コロナ危機におけるジェンダー平等と女性の権利に関する声明」
内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン		
「第5次男女共同参画基本計画」閣議決定		
GGI（ジェンダーギャップ指数）2021で日本は世界156カ国中120位（政治分野146位）	2021	
夫婦別姓を認めない民法の規定について、最高裁判所大法廷は憲法に違反しないと判断		

<編集後記>

SDGs（持続可能な開発目標）は、その前身である MDGs（ミレニアム開発目標）とは比べ物にならないほど注目されています。こうして成果物を完成させることによって半期のゼミを終了できたことは、PBL（問題解決型学習）および官学連携の実践を行えた充実感があります。また同時に、本成果物はゼミ生たちとの学びの記録としての教員にとってのティーチング・ポートフォリオとなり、また、ゼミ学生にとっては思い出深いラーニング・ポートフォリオとなったのではないかと確信しています。

なお、「ジェンダーギャップを考えるカルタ」は「まずは知ることから」をコンセプトに、「どうぞご自由にお使いくださいませ」と無料閲覧&ダウンロードできるようにはなっていますが、もしお使いになられた場合には下記メールアドレスまでご一報いただけますと幸いです。今後の参考やカルタ制作の際の励みとさせていただきます。

最期になりましたが、本成果物の作成に際しては、帝塚山大学図書館をはじめ、奈良県立図書情報館、生駒市図書館などからジェンダー問題に関する多くの資料をお借りました。この場をお借りして関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

2023年3月8日 国際女性デーの日に

冊子名：『ジェンダーギャップの解消を目指して SDGs（持続可能な開発目標）に関する探究の記録』（非売品）

発行：帝塚山大学法学部 専門基礎演習 B（2年生 13名）

&指導教員 末吉 洋文

お問い合わせ先： e-mail：sueyoshi@tezukayama-u.ac.jp

2023年3月作成

© 帝塚山大学法学部専門基礎演習 Bゼミ（指導教員：末吉洋文）